

**史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりに関する
アンケート調査結果報告書**

[目 次]

1. 調査概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の実施方法	1
3) 調査日時	1
4) 調査対象区域	2
5) 回収数	2
2. アンケート調査票	3
3. 調査結果	7
1) まちづくりの方向性（たたき台）に対する意見の概要	7
2) まちづくりの方向性（たたき台）に対する意見の回答者の属性別傾向	13
①史跡ゾーンに関する項目	13
②低層住宅・小規模店舗調和ゾーンに関する項目	16
③農住調和ゾーンに関する項目	20
④崖線緑地保全ゾーンについて	24
⑤都市計画道路について	26
⑥地区内の道路について	28
3) まちづくりの方向性（たたき台）に対する自由意見	31
①史跡ゾーンに関する項目	31
②低層住宅・小規模店舗調和ゾーンに関する項目	37
③農住調和ゾーンに関する項目	41
④崖線緑地保全ゾーンについて	44
⑤都市計画道路について	47
⑥地区内の道路について	50
⑦その他の意見について	56
4) 回答者の属性	60
①土地・建物の所有状況	60
②所有する土地・建物があるゾーン	60
③年齢	60
④お住まい	60

1. 調査概要

1) 調査の目的

アンケート調査は、史跡武蔵国分寺跡周辺エリア（以下、「史跡周辺エリア」という。）のまちづくりの重要な担い手となる土地・建物所有者の方や、史跡周辺エリア内にお住まいの方の意向を把握し、史跡周辺エリアのまちづくりの検討の基礎資料とするために実施した。

2) 調査の実施方法

調査対象は、史跡周辺エリアに土地・建物に関する権利を有する方及びエリア内に居住されている方に実施した。配布・回収方法は以下のとおりである。

- 史跡周辺エリアに居住されている方（史跡周辺エリアの権利を有する方を含む）
：ポスティング配布・郵送回収
- 史跡周辺エリアに土地・建物に関する権利を有する方のうち、エリア外に居住する方
：郵送配布・郵送回収

3) 調査日時

実施期間は、以下のとおりである。

- 史跡周辺エリアに居住されている方（史跡周辺エリアの権利を有する方を含む）
ポスティング実施日：10月6～8日 調査票投函〆切日：10月23日
- 史跡周辺エリアに土地・建物に関する権利を有する方のうち、エリア外に居住する方
調査票発送日：10月6日 調査票投函〆切日：10月23日

2. アンケート調査票

調査に用いたアンケート調査票は、以下のとおりである。

史跡周辺エリアのまちづくりに関するアンケート調査のお願い

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

史跡周辺は、国指定史跡 武蔵国分寺跡の整備を進めているとともに、真姿の池、お鷹の道など市内の貴重な観光名所が多く存在しています。また、国分寺崖線の緑が豊富に残る貴重な地域です。

市では、このような状況を踏まえ整理した『史跡武蔵国分寺跡周辺地区まちづくり計画』（平成 19 年度）や市全体のまちづくりを推進するための『国分寺市都市計画マスタープラン』（平成 27 年度）等をもとに、史跡周辺エリアの今後のまちづくりの考え方やまちづくりを推進するための方向性（たたき台）を作成し、今後は、皆様の意向を把握しつつ、実現のための手法の検討を進めていく予定です。

本調査は、史跡周辺エリアのまちづくりの重要な担い手となる土地・建物所有者の方や、エリア内にお住まいの方等の意見を伺い、今後のまちづくりに活かすために実施するものです。

調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

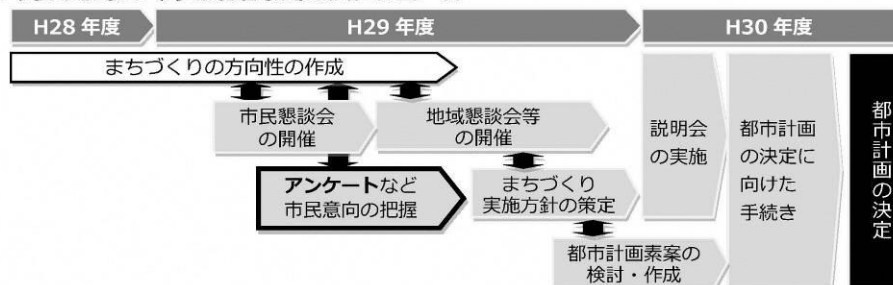
平成 29 年 10 月 国分寺市

ご記入にあたってのお願い

- 設問には、できるだけあて名のご本人様がお答えください。
ご本人が記入することが難しい場合は、ご家族の方や支援者の方などが、ご本人の意向をご記入していただいてもかまいません。
- ご回答は、あてはまる項目に をつけてお答えください。
- 調査票は、**10月23日（月）まで**に、同封の「返信用封筒」に入れ、無記名のまま郵便ポストへ投函してください。
※ご回答いただいた調査結果は、統計的に処理し、本調査以外に使用することはありません。
※ご不明な点は、下記までお問合せください。

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課 計画担当 篠原、庄司、齋藤
電話番号：042-325-0111 内線454 FAX：042-324-0160
e-mail：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

■今後のまちづくりのおおよそのスケジュール



※上記のスケジュールは、現段階での案です。今後の検討によっては、変更する可能性があります。

下記から“設問”が始まります。“設問”への回答は、本アンケート調査票に同封いたしました『史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりについて』をご一読いただくとともに、右図に示す、周辺施設やゾーン図等の位置関係を参考にお答え下さい。



図 アンケート調査対象範囲とゾーン区分

■ 史跡周辺エリアのまちづくりの方向性についてお答えください

問1：史跡ゾーンでのまちづくりの方向性について、あなたのお考えをお答えください。
(それぞれ1つに ☑)

まちづくりの方向性 (たたき台)	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
史跡の適切な保存	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
観光振興としての史跡の活用に向けた整備 (トイレ・ベンチ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他、史跡ゾーンについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。							

問2：低層住宅・小規模店舗調和ゾーンでのまちづくりの方向性について、あなたのお考えをお答えください。(それぞれ1つに ☑)

まちづくりの方向性 (たたき台)	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
史跡や崖線の緑と調和した景観の形成 (外壁等の色彩コントロール等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他、低層住宅・小規模店舗調和ゾーンについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。							

※問1～2の各設問は、まちづくりの方向性 (たたき台) は、同封いたしました『史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりについて (p.3)』に記載する事項を抜粋して記載しています。

問3：農住調和ゾーンでのまちづくりの方向性について、あなたのお考えをお答えください。（それぞれ1つに☑）

まちづくりの方向性（たたき台）	重要ではない	やや重要	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
農地の適切な保全	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農地と住宅が調和した景観の形成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他、農住調和ゾーンについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。							

問4：崖線緑地保全ゾーンでのまちづくりの方向性について、あなたのお考えをお答えください。（それぞれ1つに☑）

まちづくりの方向性（たたき台）	重要ではない	やや重要	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
まともに残る斜面緑地の適切な保全	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他、崖線緑地保全ゾーンについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。							

問5：都市計画道路に関するまちづくりの方向性について、あなたのお考えをお答えください。（それぞれ1つに☑）

まちづくりの方向性（たたき台）	積極的に取り組むべき	取組むべきでない	どちらでもない	取組むべきではない	あまり取組むべきではない	取組むべきではない	わからない
史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他、エリア内の都市計画道路についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。							

※問3～5の各設問は、まちづくりの方向性（たたき台）は、同封いたしました『史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりについて（p.3）』に記載する事項を抜粋して記載しています。
また、問5については、『史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりについて（p.5）』についても合わせて参照いただきご回答ください。

3. 調査結果

1) まちづくりの方向性（たたき台）に対する意見の概要

■ 集計結果の全体概要

集計にあたっては、「重要である」を5点、「やや重要である」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要ではない」を1点として、合計点を算出し、項目ごとの点数の平均値を比較した。

- ・ 低層住宅・小規模店舗調和ゾーンに関する「来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地」、都市計画道路に関する「史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）」を除き、ほとんどの項目が平均値4点以上となっている。
- ・ 特に、史跡ゾーンに関する「史跡の適切な保存」、崖線緑地保全ゾーンの「まとまって残る斜面緑地の適切な保全」は平均値4.5点以上と非常に高くなっている。
- ・ 4未満となった低層住宅・小規模店舗調和ゾーンに関する「来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地」、都市計画道路に関する「史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）」についても、平均値3.9点となっている。
- ・ 全ての項目が、「重要である」、「やや重要である」を合わせると7割以上となっており、おおむね賛同が得られたものと考えられる。

		重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡 ゾーン	史跡の適切な保存	270	71	5	7	5	2	5	365	4.7	95.3%
	観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）	206	104	8	14	22	3	8	365	4.3	87.6%
低層住宅・ 小規模店 舗調和 ゾーン	来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地	135	132	43	27	24	1	3	365	3.9	74.0%
	史跡や崖線の緑と調和した景観の形成（外壁等の色彩コントロール等）	184	120	24	18	10	5	4	365	4.3	85.4%
	良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保	209	106	24	8	7	3	8	365	4.4	89.0%
農住調和 ゾーン	農地の適切な保全	178	114	31	20	15	6	1	365	4.2	81.6%
	農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保	177	111	38	17	12	9	1	365	4.2	81.1%
	農地と住宅が調和した景観の形成	161	105	44	28	14	10	3	365	4.1	75.6%
崖線緑地 保全ゾーン	まとまって残る斜面緑地の適切な保全	236	83	18	12	4	9	3	365	4.5	90.4%
都市計画 道路	史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）	143	93	37	21	33	30	8	365	3.9	72.2%
地区内 の道路	地区内の道路状空間の確保	203	93	19	19	12	11	8	365	4.3	85.5%
	生活道路ネットワークの確保	206	91	26	16	8	11	7	365	4.4	85.6%

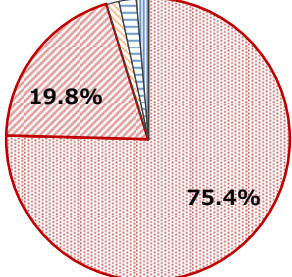
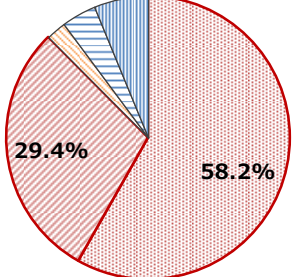
※重要度平均値4.0以上（やや重要である、重要である）を赤字で表記

※平均値、回答割合の算出にあたっては回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で集計

※都市計画道路については、「積極的に取り組むべき」、「できる限り取り組むべき」、「どちらでもない」、「あまり取り組むべきではない」、「取り組むべきではない」、「わからない」の6つの選択肢から回答

■ 史跡ゾーンの集計結果の概要

- ・ 2項目ともに平均値4以上となっており、特に「史跡の適切な保存」は「重要である」、「やや重要である」を合わせると9割以上と非常に高くなっており、史跡を活かしたまちづくりの推進が強く求められている。

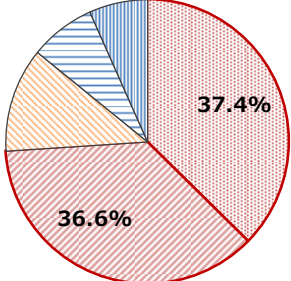
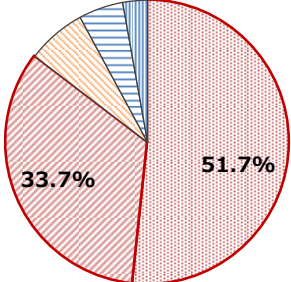
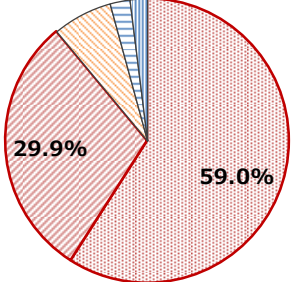
まちづくりの方向性 (たたき台)	上段：重要度の平均値 下段：とても重要である、やや重要であるの回答割合	評価分布 ■ 重要である ■ やや重要である どちらでもない あまり重要ではない 重要ではない
史跡の適切な保存	<p>4.7</p> <p>95.3%</p>	
観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）	<p>4.3</p> <p>87.6%</p>	

※平均値、回答割合の算出に当たっては回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で集計した。

※小数点以下の処理により合計値が一部一致しない場合がある。

■低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの集計結果の概要

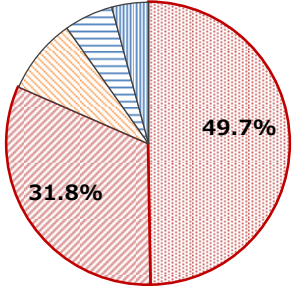
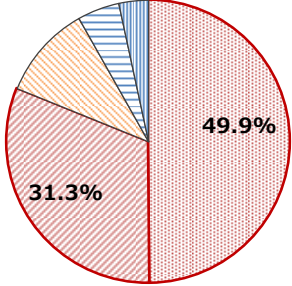
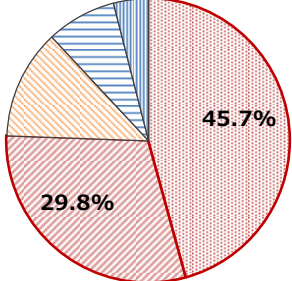
- ・「史跡や崖線の緑と調和した景観の形成（外壁等の色彩コントロール等）」、「良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保」が平均値 4 点以上となっており、良好な住環境の形成に向けた取組みが強く求められている。
- ・「来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地」についても平均値 3.9 点となっており、来訪者や地域住民の利便性向上に向けた取組みについても一定の理解が得られていると考えられる。

まちづくりの方向性 (たたき台)	上段：重要度の平均値 下段：とても重要である、やや重要であるの回答割合	評価分布 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■重要である ■やや重要である </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> □どちらでもない □あまり重要ではない </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■重要ではない </div>
来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地	3.9 74.0%	
史跡や崖線の緑と調和した景観の形成(外壁等の色彩コントロール等)	4.3 85.4%	
良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保	4.4 89.0%	

※平均値、回答割合の算出に当たっては回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で集計した。
 ※小数点以下の処理により合計値が一部一致しない場合がある。

■農住調和ゾーンの集計結果の概要

- ・ 3項目ともに平均値4点以上であり、各項目に大きな差異も見られず、全体的に重要度が高くなっており、農地の保全や農地と調和した住環境の形成が求められている。

まちづくりの方向性 (たたき台)	上段：重要度の平均値 下段：とても重要である、やや重要であるの回答割合	評価分布 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■重要である ■やや重要である </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> □どちらでもない □あまり重要ではない □重要ではない </div>
農地の適切な保全	4.2 81.6%	
農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保	4.2 81.1%	
農地と住宅が調和した景観の形成	4.1 75.6%	

※平均値、回答割合の算出に当たっては回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で集計した。

※小数点以下の処理により合計値が一部一致しない場合がある。

■崖線緑地保全ゾーンの集計結果の概要

- ・ 平均値 4.5 点であり、「重要である」、「やや重要である」を合わせると 9 割以上と非常に高くなっており、斜面緑地の保全が強く求められている。

まちづくりの方向性 (たたき台)	上段：重要度の平均値 下段：とても重要である、やや重要であるの回答割合	評価分布 <ul style="list-style-type: none"> ■重要である ■やや重要である □どちらでもない □あまり重要ではない ■重要ではない
まとめて残る斜面緑地の適切な保全	4.5 90.4%	

※平均値、回答割合の算出に当たっては回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で集計した。
 ※小数点以下の処理により合計値が一部一致しない場合がある。

■道路（都市計画道路）の集計結果の概要

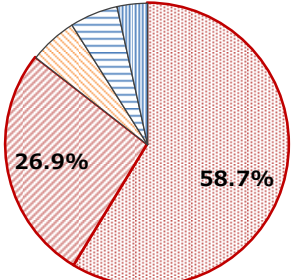
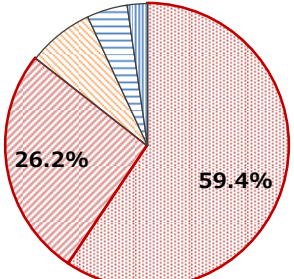
- ・ 平均値 3.9 点であり、「積極的に取り組むべき」、「できる限り取り組むべき」を合わせると 7 割以上となっており、国 3・4・1 号線の見直しに向けた検討について一定の理解が得られていると考えられる。

まちづくりの方向性 (たたき台)	上段：重要度の平均値 下段：積極的に取り組むべき、できる限り取り組むべきの回答割合	評価分布 <ul style="list-style-type: none"> ■積極的に取り組むべき ■できる限り取り組むべき □どちらでもない □あまり取り組むべきではない ■取り組むべきではない
史跡内を横断する都市計画道路国 3・4・1 号線の見直し（廃止も見据えた検討）	3.9 72.2%	

※平均値、回答割合の算出に当たっては回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で集計した。
 ※小数点以下の処理により合計値が一部一致しない場合がある。

■道路（地区内の道路）の集計結果の概要

- ・ 2項目ともに平均値4点以上であり、各項目に大きな差異も見られず、全体的に重要度が高くなっており、幅員の狭い地区内道路の解消が求められている。

まちづくりの方向性 (たたき台)	上段：重要度の平均値 下段：とても重要である、やや重要であるの回答割合	評価分布 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■重要である ■やや重要である </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> □どちらでもない □あまり重要ではない </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> ■重要ではない </div>
地区内の道路状空間の確保	<p>4.3</p> <p>85.5%</p>	
生活道路ネットワークの確保	<p>4.4</p> <p>85.6%</p>	

※平均値、回答割合の算出に当たっては回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で集計した。
 ※小数点以下の処理により合計値が一部一致しない場合がある。

2) まちづくりの方向性（たたき台）に対する意見の回答者の属性別傾向

まちづくりの方向性について、回答者の属性により重視度合いに差があるのか、特に、その場所に権利を有するか否かでどの様に変化するかを把握するため、属性別の傾向を分析した。

なお、崖線緑地ゾーン及び抵当権者については件数が非常に少ないため、基本的に分析の対象とはしない。

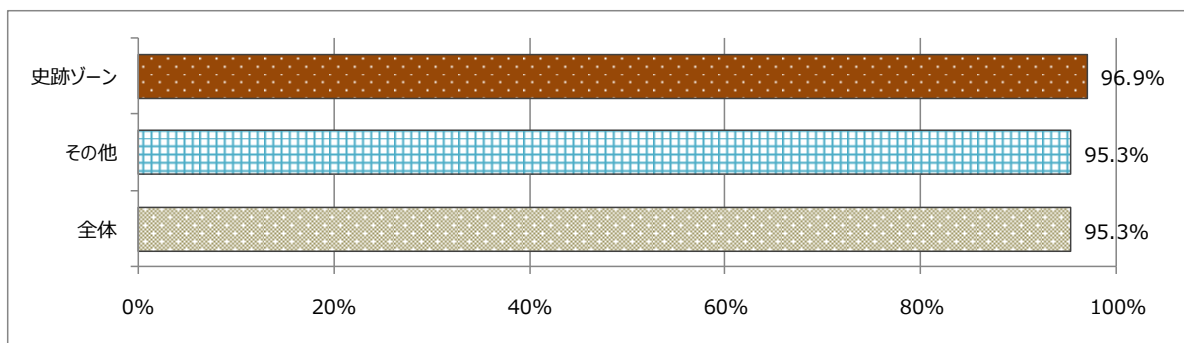
①史跡ゾーンに関する項目

■権利を有する区域別集計

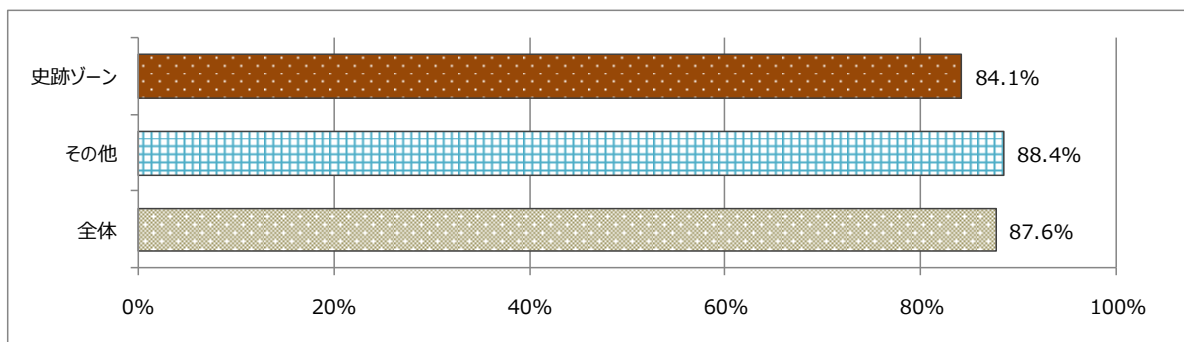
- ・ 2項目ともに史跡ゾーンの地権者とその他地域では大きな差は見られないが、「史跡の適切な保存」は、若干、史跡ゾーンの地権者の方が割合が高くなっている。
- ・ 「観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）」は、史跡ゾーンの方がその他地域よりも若干低くなっており、史跡ゾーンの地権者は史跡の保存をより強く望んでいる傾向が見られる。

<「重要である」、「やや重要である」の割合の合計>

1-1. 史跡の適切な保存



1-2. 観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）



1 - 1. 史跡の適切な保存

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	46	17	0	1	1	0	1	66	4.6	96.9%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	65	16	1	0	0	0	2	84	4.8	98.8%
農住調和ゾーン	116	20	2	2	2	0	1	143	4.7	95.8%
崖線緑地保全ゾーン	2	0	0	0	0	0	0	2	5.0	100.0%
抵当権者	4	5	1	0	0	0	0	10	4.3	90.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	40	14	1	3	2	2	0	62	4.5	90.0%
全体	270	71	5	7	5	2	5	365	4.7	95.3%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

1 - 2. 観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	37	16	2	2	6	0	3	66	4.2	84.1%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	46	26	1	3	5	1	2	84	4.3	88.9%
農住調和ゾーン	86	32	4	8	9	1	3	143	4.3	84.9%
崖線緑地保全ゾーン	1	1	0	0	0	0	0	2	4.5	100.0%
抵当権者	5	5	0	0	0	0	0	10	4.5	100.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	31	26	1	1	2	1	0	62	4.4	93.4%
全体	206	104	8	14	22	3	8	365	4.3	87.6%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

<参考>

■年齢階層別集計

1-1. 史跡の適切な保存

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	0	0	0	0	0	1	0	1	—	—
20歳代	3	1	0	3	0	0	0	7	3.6	57.1%
30歳代	19	5	0	0	1	0	0	25	4.6	96.0%
40歳代	40	11	1	0	0	0	0	52	4.8	98.1%
50歳代	50	13	1	1	1	0	0	66	4.7	95.5%
60歳代	60	15	1	1	2	1	2	82	4.6	94.9%
70歳以上	97	25	2	2	1	0	2	129	4.7	96.1%
不明	1	1	0	0	0	0	1	3	4.5	100.0%
全体	270	71	5	7	5	2	5	365	4.7	95.3%
40歳未満	22	6	0	3	1	1	0	33	4.4	87.5%
60歳未満	90	24	2	1	1	0	0	118	4.7	96.6%
60歳以上	157	40	3	3	3	1	4	211	4.7	95.6%

1-2. 観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	4	3	0	0	0	0	0	7	4.6	100.0%
30歳代	14	7	1	1	1	1	0	25	4.3	87.5%
40歳代	28	17	1	3	3	0	0	52	4.2	86.5%
50歳代	33	19	4	4	6	0	0	66	4.0	78.8%
60歳代	45	22	1	4	6	1	3	82	4.2	85.9%
70歳以上	81	34	1	2	6	1	4	129	4.5	92.7%
不明	0	2	0	0	0	0	1	3	4.0	100.0%
全体	206	104	8	14	22	3	8	365	4.3	87.6%
40歳未満	19	10	1	1	1	1	0	33	4.4	90.6%
60歳未満	61	36	5	7	9	0	0	118	4.1	82.2%
60歳以上	126	56	2	6	12	2	7	211	4.4	90.1%

■居住地別集計

1-1. 史跡の適切な保存

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	251	56	4	6	5	2	3	327	4.7	95.3%
調査対象範囲外（市内）	11	8	1	0	0	0	0	20	4.5	95.0%
国分寺市外	6	5	0	0	0	0	0	11	4.5	100.0%
不明	2	2	0	1	0	0	2	7	4.0	80.0%
全体	270	71	5	7	5	2	5	365	4.7	95.3%

1-2. 観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	188	88	8	13	22	3	5	327	4.3	86.5%
調査対象範囲外（市内）	10	8	0	1	0	0	1	20	4.4	94.7%
国分寺市外	6	5	0	0	0	0	0	11	4.5	100.0%
不明	2	3	0	0	0	0	2	7	4.4	100.0%
全体	206	104	8	14	22	3	8	365	4.3	87.6%

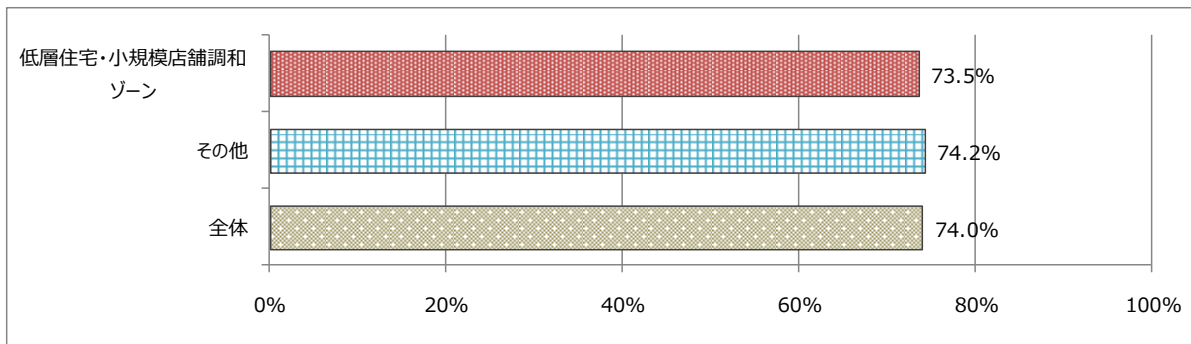
②低層住宅・小規模店舗調和ゾーンに関する項目

■権利を有する区域別集計

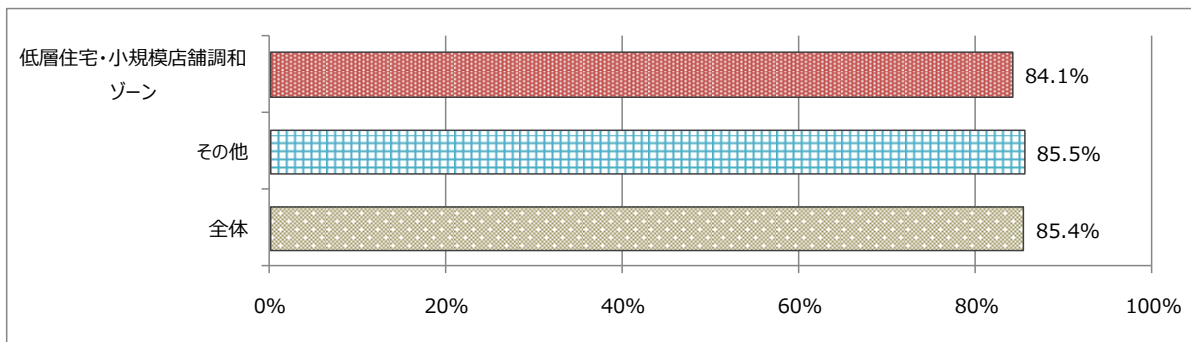
- ・ 3項目ともに低層住宅・小規模店舗調和ゾーンとその他地域において大きな差は見られない。
- ・ 「良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保」は、低層住宅・小規模店舗調和ゾーンが「重要である」、「やや重要である」の割合の合計が9割以上となっており、その他地域よりも若干高くなっている。

<「重要である」、「やや重要である」の割合の合計>

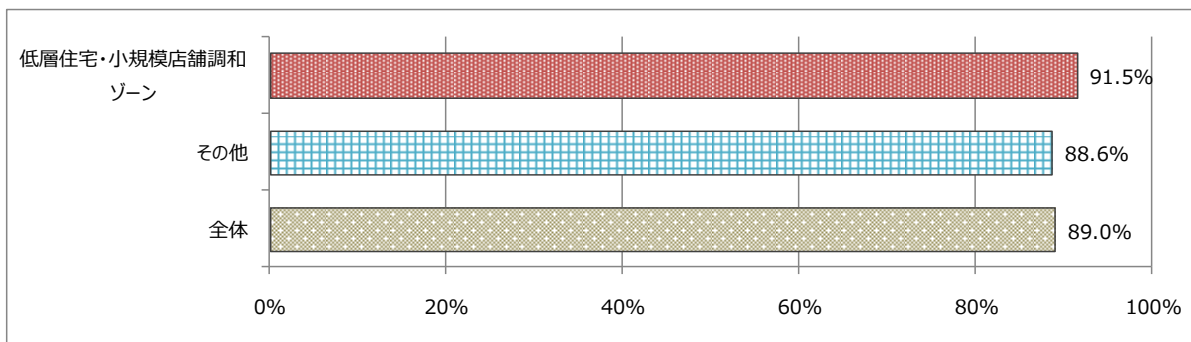
2-1. 来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地



2-2. 史跡や崖線の緑と調和した景観の形成（外壁等の色彩コントロール等）



2-3. 良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保



2-1. 来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	25	21	6	10	2	0	2	66	3.9	71.9%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	32	29	7	8	7	0	1	84	3.9	73.5%
農住調和ゾーン	52	54	18	7	11	0	1	143	3.9	74.6%
崖線緑地保全ゾーン	1	1	0	0	0	0	0	2	4.5	100.0%
抵当権者	3	4	2	1	0	0	0	10	3.9	70.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	23	23	9	2	4	1	0	62	4.0	75.4%
全体	135	132	43	27	24	1	3	365	3.9	74.0%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

2-2. 史跡や崖線の緑と調和した景観の形成（外壁等の色彩コントロール等）

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	35	17	6	5	0	1	2	66	4.3	82.5%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	43	26	5	7	1	1	1	84	4.3	84.1%
農住調和ゾーン	68	53	9	6	5	0	2	143	4.2	85.8%
崖線緑地保全ゾーン	1	1	0	0	0	0	0	2	4.5	100.0%
抵当権者	4	4	1	0	1	0	0	10	4.0	80.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	33	19	4	1	2	3	0	62	4.4	88.1%
全体	184	120	24	18	10	5	4	365	4.3	85.4%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

2-3. 良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	35	20	6	0	1	0	4	66	4.4	88.7%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	52	23	4	2	1	0	2	84	4.5	91.5%
農住調和ゾーン	85	38	9	4	3	1	3	143	4.4	88.5%
崖線緑地保全ゾーン	2	0	0	0	0	0	0	2	5.0	100.0%
抵当権者	4	5	0	1	0	0	0	10	4.2	90.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	34	19	5	0	2	2	0	62	4.4	88.3%
全体	209	106	24	8	7	3	8	365	4.4	89.0%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

<参考>

■ 年齢階層別集計

2-1. 来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	4	3	0	0	0	0	0	7	4.6	100.0%
30歳代	8	6	5	4	2	0	0	25	3.6	56.0%
40歳代	21	20	6	2	3	0	0	52	4.0	78.8%
50歳代	22	26	6	7	5	0	0	66	3.8	72.7%
60歳代	30	24	13	5	7	1	2	82	3.8	68.4%
70歳以上	48	52	12	9	7	0	1	129	4.0	78.1%
不明	1	1	1	0	0	0	0	3	4.0	66.7%
全体	135	132	43	27	24	1	3	365	3.9	74.0%
40歳未満	13	9	5	4	2	0	0	33	3.8	66.7%
60歳未満	43	46	12	9	8	0	0	118	3.9	75.4%
60歳以上	78	76	25	14	14	1	3	211	3.9	74.4%

2-2. 史跡や崖線の緑と調和した景観の形成（外壁等の色彩コントロール等）

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	3	2	1	1	0	0	0	7	4.0	71.4%
30歳代	10	7	2	2	1	3	0	25	4.0	77.3%
40歳代	29	18	2	2	1	0	0	52	4.4	90.4%
50歳代	36	20	4	4	2	0	0	66	4.3	84.8%
60歳代	38	28	6	3	4	1	2	82	4.2	83.5%
70歳以上	64	45	9	6	2	1	2	129	4.3	86.5%
不明	3	0	0	0	0	0	0	3	5.0	100.0%
全体	184	120	24	18	10	5	4	365	4.3	85.4%
40歳未満	14	9	3	3	1	3	0	33	4.1	76.7%
60歳未満	65	38	6	6	3	0	0	118	4.3	87.3%
60歳以上	102	73	15	9	6	2	4	211	4.2	85.4%

2-3. 良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	3	3	1	0	0	0	0	7	4.3	85.7%
30歳代	16	7	0	1	0	1	0	25	4.6	95.8%
40歳代	30	16	4	0	2	0	0	52	4.4	88.5%
50歳代	38	16	6	2	3	0	1	66	4.3	83.1%
60歳代	48	21	6	2	2	1	2	82	4.4	87.3%
70歳以上	72	41	7	3	0	1	5	129	4.5	91.9%
不明	1	2	0	0	0	0	0	3	4.3	100.0%
全体	209	106	24	8	7	3	8	365	4.4	89.0%
40歳未満	20	10	1	1	0	1	0	33	4.5	93.8%
60歳未満	68	32	10	2	5	0	1	118	4.3	85.5%
60歳以上	120	62	13	5	2	2	7	211	4.5	90.1%

■居住地別集計

2-1. 来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	118	122	35	27	22	1	2	327	3.9	74.1%
調査対象範囲外（市内）	10	4	5	0	1	0	0	20	4.1	70.0%
国分寺市外	6	3	1	0	1	0	0	11	4.2	81.8%
不明	1	3	2	0	0	0	1	7	3.8	66.7%
全体	135	132	43	27	24	1	3	365	3.9	74.0%

2-2. 史跡や崖線の緑と調和した景観の形成（外壁等の色彩コントロール等）

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	170	106	20	17	8	4	2	327	4.3	86.0%
調査対象範囲外（市内）	6	8	4	1	0	0	1	20	4.0	73.7%
国分寺市外	4	5	0	0	1	1	0	11	4.1	90.0%
不明	4	1	0	0	1	0	1	7	4.2	83.3%
全体	184	120	24	18	10	5	4	365	4.3	85.4%

2-3. 良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	194	94	21	4	6	3	5	327	4.5	90.3%
調査対象範囲外（市内）	9	4	2	2	1	0	2	20	4.0	72.2%
国分寺市外	4	5	1	1	0	0	0	11	4.1	81.8%
不明	2	3	0	1	0	0	1	7	4.0	83.3%
全体	209	106	24	8	7	3	8	365	4.4	89.0%

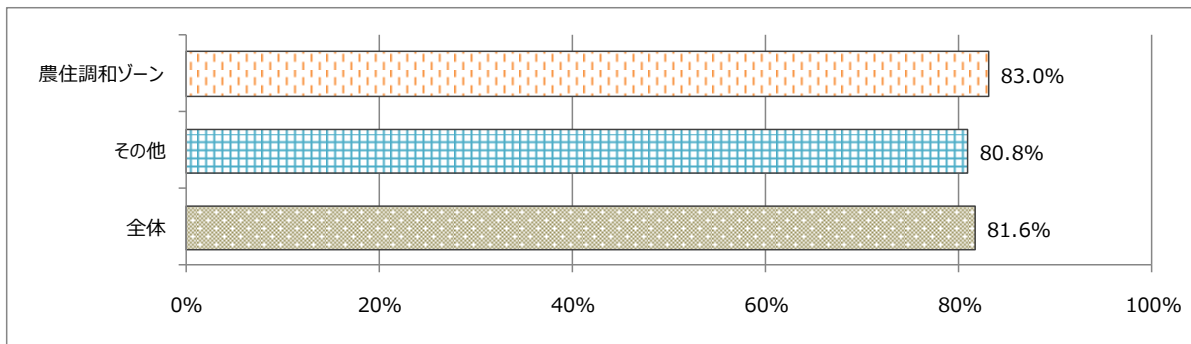
③農住調和ゾーンに関する項目

■権利を有する区域別集計

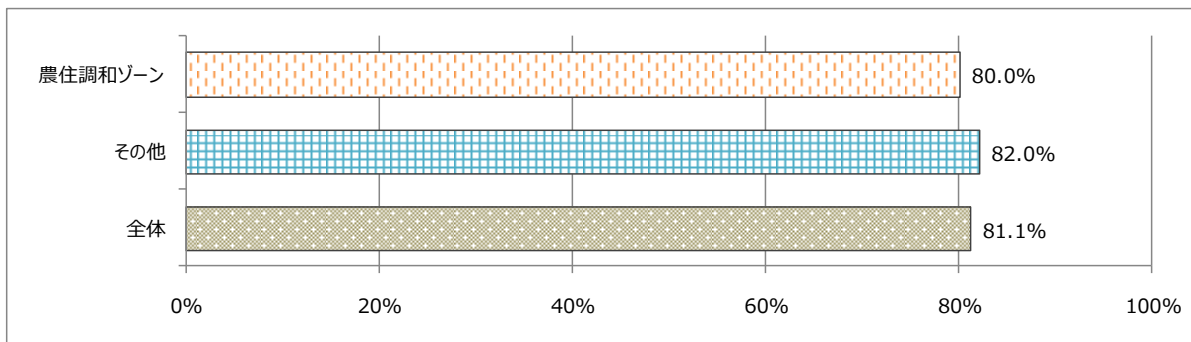
- ・ 3項目ともに農住調和ゾーンとその他地域において大きな差は見られない。
- ・ 「農地の適切な保全」は農住調和ゾーンの方が若干高く、「農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保」，「農地と住宅が調和した景観の形成」は，その他地域の方が若干高くなっている。

<「重要である」,「やや重要である」の割合の合計>

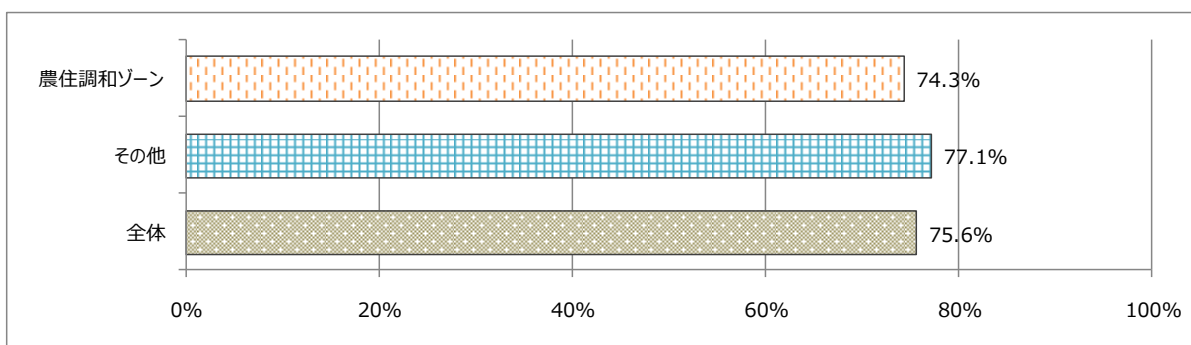
3-1. 農地の適切な保全



3-2. 農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保



3-3. 農地と住宅が調和した景観の形成



3-1. 農地の適切な保全

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	33	18	8	2	4	0	1	66	4.1	78.5%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	40	28	7	5	2	2	0	84	4.2	82.9%
農住調和ゾーン	73	44	10	7	7	2	0	143	4.2	83.0%
崖線緑地保全ゾーン	1	1	0	0	0	0	0	2	4.5	100.0%
抵当権者	4	4	1	1	0	0	0	10	4.1	80.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	32	16	5	5	2	2	0	62	4.2	80.0%
全体	178	114	31	20	15	6	1	365	4.2	81.6%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

3-2. 農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	31	21	8	3	2	0	1	66	4.2	80.0%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	41	29	8	4	1	1	0	84	4.3	84.3%
農住調和ゾーン	81	31	16	7	5	3	0	143	4.3	80.0%
崖線緑地保全ゾーン	2	0	0	0	0	0	0	2	5.0	100.0%
抵当権者	3	4	2	0	0	1	0	10	4.1	77.8%
エリア内居住者・店舗等営業者	26	21	4	3	4	4	0	62	4.1	81.0%
全体	177	111	38	17	12	9	1	365	4.2	81.1%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

3-3. 農地と住宅が調和した景観の形成

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	30	19	8	4	2	1	2	66	4.1	77.8%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	37	28	10	4	3	2	0	84	4.1	79.3%
農住調和ゾーン	67	37	18	13	5	2	1	143	4.1	74.3%
崖線緑地保全ゾーン	1	1	0	0	0	0	0	2	4.5	100.0%
抵当権者	3	3	3	0	0	1	0	10	4.0	66.7%
エリア内居住者・店舗等営業者	29	14	5	6	4	4	0	62	4.0	74.1%
全体	161	105	44	28	14	10	3	365	4.1	75.6%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

<参考>

■ 年齢階層別集計

3-1. 農地の適切な保全

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	3	1	1	1	1	0	0	7	3.6	57.1%
30歳代	18	5	1	1	0	0	0	25	4.6	92.0%
40歳代	30	13	1	3	3	2	0	52	4.3	86.0%
50歳代	33	25	4	2	1	1	0	66	4.3	89.2%
60歳代	35	27	11	2	4	2	1	82	4.1	78.5%
70歳以上	58	40	13	11	6	1	0	129	4.0	76.6%
不明	0	3	0	0	0	0	0	3	4.0	100.0%
全体	178	114	31	20	15	6	1	365	4.2	81.6%
40歳未満	22	6	2	2	1	0	0	33	4.4	84.8%
60歳未満	63	38	5	5	4	3	0	118	4.3	87.8%
60歳以上	93	67	24	13	10	3	1	211	4.1	77.3%

3-2. 農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	3	2	0	1	1	0	0	7	3.7	71.4%
30歳代	14	8	2	0	0	1	0	25	4.5	91.7%
40歳代	28	14	4	4	1	1	0	52	4.3	82.4%
50歳代	31	20	8	2	3	2	0	66	4.2	79.7%
60歳代	35	23	12	4	4	3	1	82	4.0	74.4%
70歳以上	65	41	12	6	3	2	0	129	4.3	83.5%
不明	0	3	0	0	0	0	0	3	4.0	100.0%
全体	177	111	38	17	12	9	1	365	4.2	81.1%
40歳未満	18	10	2	1	1	1	0	33	4.3	87.5%
60歳未満	59	34	12	6	4	3	0	118	4.2	80.9%
60歳以上	100	64	24	10	7	5	1	211	4.2	80.0%

3-3. 農地と住宅が調和した景観の形成

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	1	2	0	3	1	0	0	7	2.9	42.9%
30歳代	15	4	3	1	0	2	0	25	4.4	82.6%
40歳代	27	11	5	8	1	0	0	52	4.1	73.1%
50歳代	28	21	10	3	2	2	0	66	4.1	76.6%
60歳代	28	26	13	5	6	3	1	82	3.8	69.2%
70歳以上	61	39	12	8	4	3	2	129	4.2	80.6%
不明	0	2	1	0	0	0	0	3	3.7	66.7%
全体	161	105	44	28	14	10	3	365	4.1	75.6%
40歳未満	17	6	3	4	1	2	0	33	4.1	74.2%
60歳未満	55	32	15	11	3	2	0	118	4.1	75.0%
60歳以上	89	65	25	13	10	6	3	211	4.0	76.2%

■居住地別集計

3-1. 農地の適切な保全

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	168	97	27	17	12	6	0	327	4.2	82.6%
調査対象範囲外（市内）	5	9	3	1	2	0	0	20	3.7	70.0%
国分寺市外	3	4	1	2	1	0	0	11	3.5	63.6%
不明	2	4	0	0	0	0	1	7	4.3	100.0%
全体	178	114	31	20	15	6	1	365	4.2	81.6%

3-2. 農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	165	97	32	15	9	9	0	327	4.2	82.4%
調査対象範囲外（市内）	5	7	4	2	2	0	0	20	3.6	60.0%
国分寺市外	5	4	1	0	1	0	0	11	4.1	81.8%
不明	2	3	1	0	0	0	1	7	4.2	83.3%
全体	177	111	38	17	12	9	1	365	4.2	81.1%

3-3. 農地と住宅が調和した景観の形成

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内（市内）	152	92	37	23	11	10	2	327	4.1	77.5%
調査対象範囲外（市内）	6	5	3	4	2	0	0	20	3.5	55.0%
国分寺市外	3	5	2	0	1	0	0	11	3.8	72.7%
不明	0	3	2	1	0	0	1	7	3.3	50.0%
全体	161	105	44	28	14	10	3	365	4.1	75.6%

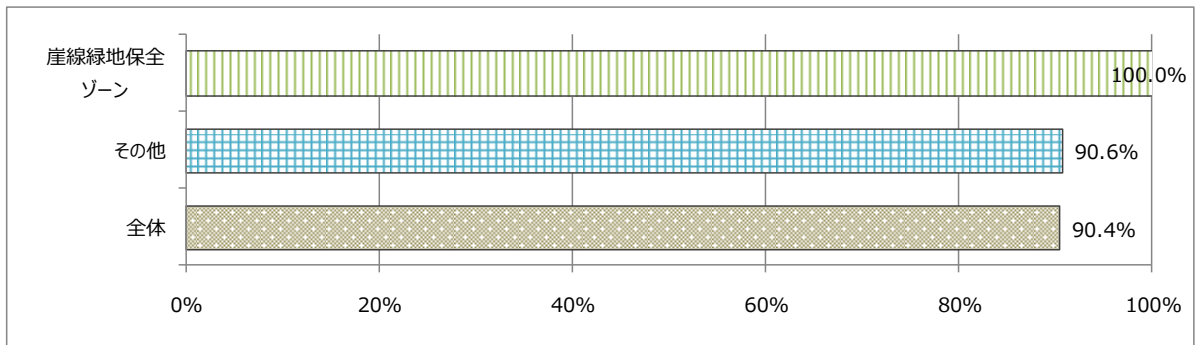
④崖線緑地保全ゾーンについて

■権利を有する区域別集計

- ・ 崖線緑地保全ゾーンは回答数が非常に少ないため、参考値とする。
- ・ 全体的に「重要である」、「やや重要である」の割合は高くなってる。

<「重要である」、「やや重要である」の割合の合計>

4-1. まとまって残る斜面緑地の適切な保全



	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	43	15	3	2	1	0	2	66	4.5	90.6%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	63	16	1	2	0	2	0	84	4.7	96.3%
農住調和ゾーン	93	31	8	3	1	5	2	143	4.6	91.2%
崖線緑地保全ゾーン	1	1	0	0	0	0	0	2	4.5	100.0%
抵当権者	4	3	2	1	0	0	0	10	4.0	70.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	35	16	4	3	2	2	0	62	4.3	85.0%
全体	236	83	18	12	4	9	3	365	4.5	90.4%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

<参考>

■年齢階層別集計

4-1. まとまって残る斜面緑地の適切な保全

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	4	0	0	2	1	0	0	7	3.6	57.1%
30歳代	14	7	0	1	0	3	0	25	4.5	95.5%
40歳代	32	13	2	2	1	2	0	52	4.5	90.0%
50歳代	44	18	4	0	0	0	0	66	4.6	93.9%
60歳代	50	20	7	0	1	2	2	82	4.5	89.7%
70歳以上	90	23	5	7	1	2	1	129	4.5	89.7%
不明	1	2	0	0	0	0	0	3	4.3	100.0%
全体	236	83	18	12	4	9	3	365	4.5	90.4%
40歳未満	19	7	0	3	1	3	0	33	4.3	86.7%
60歳未満	76	31	6	2	1	2	0	118	4.5	92.2%
60歳以上	140	43	12	7	2	4	3	211	4.5	89.7%

■居住地別集計

4-1. まとまって残る斜面緑地の適切な保全

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内(市内)	217	71	16	9	3	9	2	327	4.6	91.1%
調査対象範囲外(市内)	11	6	1	1	1	0	0	20	4.3	85.0%
国分寺市外	6	3	1	1	0	0	0	11	4.3	81.8%
不明	2	3	0	1	0	0	1	7	4.0	83.3%
全体	236	83	18	12	4	9	3	365	4.5	90.4%

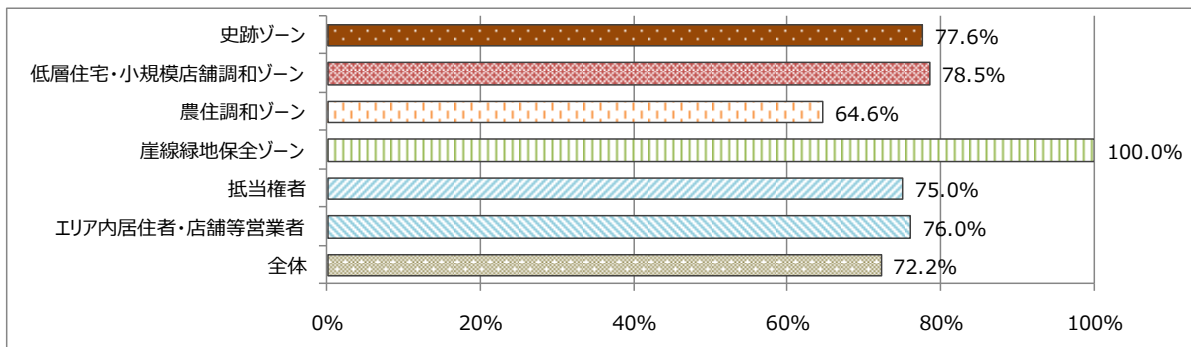
⑤都市計画道路について

■権利を有する区域別集計

- ・ 国3・4・1号線が通る史跡ゾーン，低層住宅・小規模店舗調和ゾーンが農住調和ゾーンよりも1割以上高く，都市計画道路に関連する地権者の方がより，見直しを強く求めている傾向が見られる。

<「積極的に取組むべき」,「できる限り取組むべき」の割合の合計>

5-1. 史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）



ゾーン/グループ	積極的に取組むべき (5)	できる限り取組むべき (4)	どちらでもない (3)	あまり取組むべきではない (2)	取組むべきではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	積極的に取組むべき できる限り取組むべき 割合合計
史跡ゾーン	29	16	5	3	5	3	5	66	4.1	77.6%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	42	20	8	2	7	5	0	84	4.1	78.5%
農住調和ゾーン	48	36	18	12	16	8	5	143	3.7	64.6%
崖線緑地保全ゾーン	0	2	0	0	0	0	0	2	4.0	100.0%
抵当権者	3	3	1	0	1	2	0	10	3.9	75.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	21	17	5	3	4	12	0	62	4.0	76.0%
全体	143	93	37	21	33	30	8	365	3.9	72.2%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため，内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

<参考>

■年齢階層別集計

5-1. 史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）

	積極的に 取組むべき (5)	できる限り 取組むべき (4)	どちら でもない (3)	あまり取組む べきではない (2)	取組むべき ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	積極的に 取組むべき できる限り 取組むべき 割合合計
10歳代	0	0	0	0	0	1	0	1	—	—
20歳代	6	0	0	0	1	0	0	7	4.4	85.7%
30歳代	7	8	4	2	2	2	0	25	3.7	65.2%
40歳代	18	15	5	3	6	3	2	52	3.8	70.2%
50歳代	26	19	7	4	6	4	0	66	3.9	72.6%
60歳代	31	19	9	3	9	7	4	82	3.8	70.4%
70歳以上	53	32	11	9	9	13	2	129	4.0	74.6%
不明	2	0	1	0	0	0	0	3	4.3	66.7%
全体	143	93	37	21	33	30	8	365	3.9	72.2%
40歳未満	13	8	4	2	3	3	0	33	3.9	70.0%
60歳未満	44	34	12	7	12	7	2	118	3.8	71.6%
60歳以上	84	51	20	12	18	20	6	211	3.9	73.0%

■居住地別集計

5-1. 史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）

	積極的に 取組むべき (5)	できる限り 取組むべき (4)	どちら でもない (3)	あまり取組む べきではない (2)	取組むべき ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	積極的に 取組むべき できる限り 取組むべき 割合合計
調査対象範囲内（市内）	129	80	33	20	30	28	7	327	3.9	71.6%
調査対象範囲外（市内）	7	9	2	0	1	1	0	20	4.1	84.2%
国分寺市外	4	3	1	0	2	1	0	11	3.7	70.0%
不明	3	1	1	1	0	0	1	7	4.0	66.7%
全体	143	93	37	21	33	30	8	365	3.9	72.2%

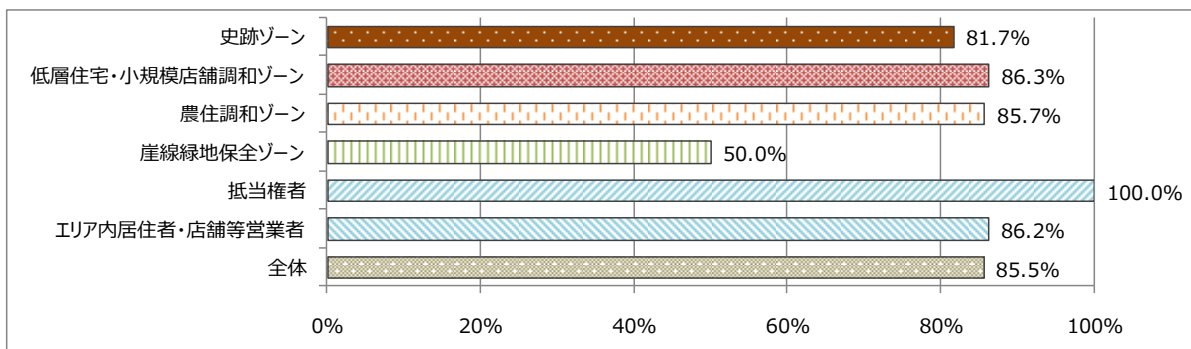
⑥地区内の道路について

■権利を有する区域別集計

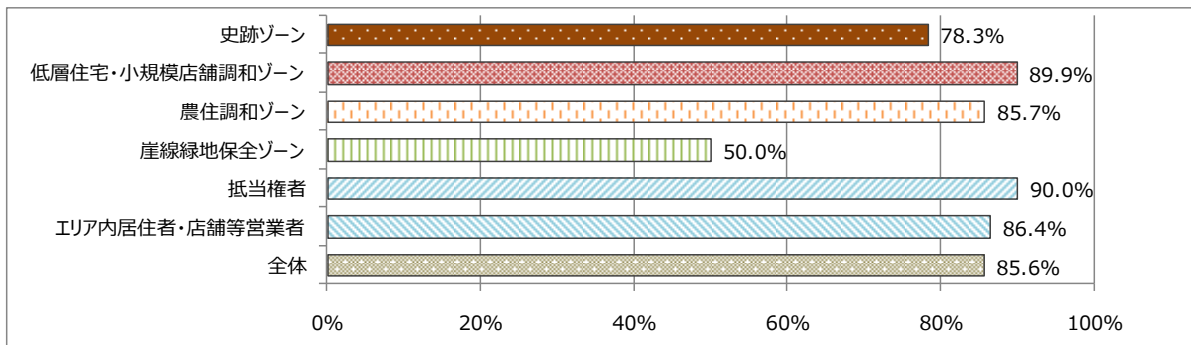
- ・ 全体的に高い割合となっているものの、2項目ともに史跡ゾーンが他のゾーンと比較して、「重要である」、「やや重要である」の割合が低くなっている。特に、「生活道路ネットワークの確保」は他のゾーンと比較して1割前後の差が見られる。

<「重要である」、「やや重要である」の割合の合計>

6-1. 地区内の道路状空間の確保



6-2. 生活道路ネットワークの確保



6-1. 地区内の道路状空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	32	17	5	4	2	3	3	66	4.2	81.7%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	50	19	3	5	3	2	2	84	4.4	86.3%
農住調和ゾーン	84	36	11	4	5	1	2	143	4.4	85.7%
崖線緑地保全ゾーン	1	0	1	0	0	0	0	2	4.0	50.0%
抵当権者	6	3	0	0	0	1	0	10	4.7	100.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	34	16	0	6	2	4	0	62	4.3	86.2%
全体	203	93	19	19	12	11	8	365	4.3	85.5%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

6-2. 生活道路ネットワークの確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
史跡ゾーン	34	13	7	5	1	3	1	64	4.2	78.3%
低層住宅・小規模店舗調和ゾーン	57	14	2	4	2	4	2	85	4.5	89.9%
農住調和ゾーン	76	44	14	3	3	1	1	142	4.3	85.7%
崖線緑地保全ゾーン	1	0	1	0	0	0	0	2	4.0	50.0%
抵当権者	6	3	1	0	0	0	0	10	4.5	90.0%
エリア内居住者・店舗等営業者	35	16	2	4	2	3	0	62	4.3	86.4%
全体	206	91	26	16	8	11	7	365	4.4	85.6%

※複数のゾーンの地権者は各ゾーンで重複して集計しているため、内訳と全体の数値は一致しない場合がある。

<参考>

■年齢階層別集計

6-1. 地区内の道路状空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	4	2	0	1	0	0	0	7	4.3	85.7%
30歳代	15	6	0	2	2	0	0	25	4.2	84.0%
40歳代	31	14	4	2	1	0	0	52	4.4	86.5%
50歳代	32	19	5	6	2	2	0	66	4.1	79.7%
60歳代	50	19	3	2	1	4	3	82	4.5	92.0%
70歳以上	69	33	6	6	6	5	4	129	4.3	85.0%
不明	1	0	1	0	0	0	1	3	4.0	50.0%
全体	203	93	19	19	12	11	8	365	4.3	85.5%
40歳未満	20	8	0	3	2	0	0	33	4.2	84.8%
60歳未満	63	33	9	8	3	2	0	118	4.3	82.8%
60歳以上	119	52	9	8	7	9	7	211	4.4	87.7%

6-2. 生活道路ネットワークの確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0	100.0%
20歳代	6	1	0	0	0	0	0	7	4.9	100.0%
30歳代	15	6	1	1	2	0	0	25	4.2	84.0%
40歳代	32	13	5	2	0	0	0	52	4.4	86.5%
50歳代	36	15	6	5	2	2	0	66	4.2	79.7%
60歳代	50	18	5	2	0	4	3	82	4.5	90.7%
70歳以上	65	38	8	6	4	5	3	129	4.3	85.1%
不明	1	0	1	0	0	0	1	3	4.0	50.0%
全体	206	91	26	16	8	11	7	365	4.4	85.6%
40歳未満	22	7	1	1	2	0	0	33	4.4	87.9%
60歳未満	68	28	11	7	2	2	0	118	4.3	82.8%
60歳以上	115	56	13	8	4	9	6	211	4.4	87.2%

■居住地別集計

6-1. 地区内の道路状空間の確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内(市内)	183	85	17	15	12	10	5	327	4.3	85.9%
調査対象範囲外(市内)	11	4	1	3	0	0	1	20	4.2	78.9%
国分寺市外	7	3	0	0	0	1	0	11	4.7	100.0%
不明	2	1	1	1	0	0	2	7	3.8	60.0%
全体	203	93	19	19	12	11	8	365	4.3	85.5%

6-2. 生活道路ネットワークの確保

	重要である (5)	やや重要 である (4)	どちら でもない (3)	あまり重要 ではない (2)	重要 ではない (1)	わからない	無回答	合計	平均	重要である やや重要である 割合合計
調査対象範囲内(市内)	188	84	19	13	8	10	5	327	4.4	87.2%
調査対象範囲外(市内)	9	6	3	2	0	0	0	20	4.1	75.0%
国分寺市外	7	1	2	0	0	1	0	11	4.5	80.0%
不明	2	0	2	1	0	0	2	7	3.6	40.0%
全体	206	91	26	16	8	11	7	365	4.4	85.6%

3) まちづくりの方向性（たたき台）に対する自由意見

①史跡ゾーンに関する項目

■主な意見

太字:自由回答で5件以上の複数意見がみられた項目

史跡の適切な保存	<ul style="list-style-type: none"> ○緑・樹木等を残した整備 ○人の手を加えない整備 ○歴史的建造物の復元等による史跡の歴史性の向上 ○史跡を訪れやすい場所にする工夫 ○仁王門，薬師堂等の歴史的建造物のアピール
観光振興としての史跡の活用に向けた整備（トイレ・ベンチ等）	<ul style="list-style-type: none"> ○来訪者が使えるトイレの整備 ○ベンチ等の高齢者等が休憩できる場所の整備 ○史跡内を散策するための道路の確保 ○団体用の大型バス用も含めた駐車場の整備 ○史跡への案内板の充実 ○史跡について学べる表示板等の充実 ○史跡内でのイベントの充実 ○トイレや駐車場は史跡周辺も含めた確保を検討 ○史跡内の施設の維持管理 ○駐輪場の整備 ○観光案内所の設置 ○情報収集のための広報等の検討 ○V R等を活用した史跡の展示

■地域属性別の自由意見の回答

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
1	緑，樹木等を残しながら整備をしていただきたい。
2	変に復元，再現等をせず，自然のまま保存して欲しい。
3	史跡の保存は大切なことですが，環境，緑の保全があつてこそ。このエリアの良い雰囲気が出ているのではないかと思います。
4	もみじの木を植えて欲しい。
5	余り人の手を加えず，現状を維持することを中心に，観光的なことは望まない。口コミで来る人がいるくらいが良策。
6	尼寺跡のようにじやり敷きにしないでほしい。雑草が目立つし，平城京跡地ではないので安っぽいだけ。
7	史跡保存は重要だが，開発により，史跡の保存が適切でなくなる。
8	最近他市から観光で来ている人を多く見かける。七重の塔等をもっと整備した方が良い。せっかく遠方から来てもらっているため。
9	現在は史跡らしい建物が何も無く原っぱで遊ぶのにはとても良いですが，多少は観光的なことも考えたらどうでしょうか。
10	薬師堂，仁王門に行く人が少ない。武蔵国分寺公園を通過して，真姿の池に下りる道をもっと整備して欲しい。仁王門をもっと宣伝すべき。アメリカ建国より古い建物である。
11	自由に散歩でき，トイレ，ベンチがきれいにかつ，生活道路としても駅まで使いたい。自動車は不可。
12	観光客を呼び込む，もてなす状況にないのが現状。案内板，トイレ，店等をセットで整備が必要。
13	観光者を多く希望するのであればトイレ等の設備がなくてはならない。飲料，軽食などの店も必要。史跡ゾーンも同じ考え。
14	あずま家（水呑場併設）を適正な位置に設置。ごみは「持ち帰り」の看板を設置。

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
15	武蔵国分寺の壮大さが見えてこない。中心の大きな道が欲しい。
16	トイレ・ベンチは重要ですが車の駐車場の確保。
17	観光拠点をつなぐ住宅地ゾーンに案内板等がほとんどなく、訪問する側としては不安になる。道を良く聞かれる。
18	国分寺跡を観光に来る人に、「跡地はどこか？」たずねられるケースがある。もう少し目立たせてほしい。国分寺跡は何もないため、もったいない。お花見の時期だけでもお団子等の風情がある出店をおいても良いと思う。桜はとてきれいで、空間もとてもたくさんある。イベントをしてほしい。
19	針金のさびた柵と木の支柱が景観を損ねていると思う。一気にさびれた感じが出るので、観光振興の為に、まずそこを見直してほしい。
20	史跡は二度とつくる事はできない。大切にすべき。ただし、観光振興は、違法駐車やごみ放置との問題が起こる可能性があるので慎重に！
21	どの場合でも、人が増えればゴミも増える。畑、住宅地などポイ捨てなどないのが望ましい。
22	七重塔跡付近の草原は貴重な緑であるが、市外から訪れる人は少ないようである。来訪者を増やし、お金を使ってもらえる対策はないものか。（具体案を持っていないが、何かアイデアが出ないか、いつも考えています。）
23	史跡エリアの工事が長すぎる（公示完成後復元等あまりパットしない）。見物人が少ない。一般企業で施工したら2～3ヶ月で出来る様な工事が数年もかかっているとは？（史跡調査も重点をおいて早く施工してもらいたい）…時間かかりすぎ！
24	現状より酷くならないようにしてほしい。
25	日本で一番古い国分寺（神津島）もみてる。国分寺の国分寺ということ。
26	史跡指定について、地主全員に説明を！（一部の大地主だけである）
27	既にあるトイレで足りていると思います。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
28	あるがままの史跡である事が大事なことです。人集めの建物の復元など不必要なことです。
29	現在の観光化が進んでいない国分寺を素敵だと毎日のように散策しています。
30	史跡に手を加えたら、それはもう史跡ではなくなります。無駄にお金をかけて大切な史跡の形を変えてしまうことは大反対。
31	史跡や崖線などにはこれ以上手をつけないでいただきたい。1000年の歴史も手をつけて無用のものにするのは一瞬。
32	コンクリートで全面覆う保存方法はよくないと思う。子供も遊べる緑地のままが良かった（子供の頃から遊んでいた場所がコンクリートになるのは残念）。
33	史跡の一部を現在、コンクリートなどで跡地を再現しているが、古代のものを現代のもので再現するのはナンセンス。史跡を見にくる人は自分の頭の中で再現するものだ。海外（ヨーロッパの史跡保護）をよく研究すべき。
34	史跡の保存について、コンクリートで礎石のまわりを固めてしまうなどの保存方法は取らないでいただきたい。国分寺の史跡は宝です。予算をたくさん投入して、自然と調和する史跡保全を計画し推進していただきたい。場当たりの予算の使い方で安っぽい史跡になってしまうことが一番心配です。
35	今のままでは史跡と言うにはあまりに貧弱、奈良の平城京跡のように少しずついいから当時の建物を再現するのはいかがでしょう。
36	国分寺の伽藍跡を整備するよりも、シンボルとなるものを何十年かけてでも建て直した方がよいように思う。例）七重塔再建→数十年後金堂再建…というように。
37	七重塔の復元。湧水を見るための場所を真姿池の他の場所に確保する。ホテルが殆ど見られなくなりましたので養殖してもっと初夏のいどりを増やしたい。
38	今までの史跡周辺を整備はあまりにお粗末であったと思います。本アンケートに記載されている全てのゾーンについて積極的に整備して欲しいと強く思います。できることなら、かつての国分寺本堂や七重塔を再建して下さい。長期的視点で、国分寺市の財政を大きく改善させると思います。
39	来訪者用のトイレは必要。
40	ベンチを多く設置すべきだ。
41	諸外国（とくにヨーロッパ）には休憩ベンチが大変多い。国分寺ばかりでなく、日本には著るしく少ない。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
42	周辺（内側を含めて）の道路が狭すぎる。せめて2台通行できるぐらいの幅にすべき。特に広域避難指定区域（通称・砂場）。軽自動車でも相互通行できない。
43	道路の整備（観光バスの通過、駐車場）が非常に悪い進んでいない。乗用車でさえ交互通行困難では誰も訪れてはくれない。（最優先事項と考える！）
44	観光者用も考慮し、道幅を広くしてもらわないと、ただでさえ狭い道に観光者が広がって散策していたら通れない。
45	多くの人にPRするためには、一度来て見てもらはねばなりません。その為には大型バスが入れる駐車場が必要です。その次には宣伝が必要です。おたカフェを拡充して地元の物産販売所をひろげる。
46	史跡への案内板の不足。来訪者は様々なルートで訪れている（国分寺駅への行き方／バス通りへの行き方を尋ねられることが多い）。
47	東元3丁目信号より史跡に行く途中お鷹の道への入口がわかりづらいと聞かれた事があった。
48	来訪者の方へ国分寺の良さ（自然）を感じて欲しいが、トイレ、店舗をつくることでゴミが増えないか心配です。自然のままを希望します。案内が少なく迷われている来訪者が多いです。
49	お鷹の道の一部が、未整備であり、雨の日などはぬかるみ歩きにくい。史跡だけでは往時の大伽藍は想像できない。VRなどの活用を考えてほしい。
50	西に寄った畑の所に駐輪場を作ったと思う。
51	歩きタバコを禁止してほしいです。
52	来訪者への観光マナーの徹底強化すべき。
53	野良猫が生息している。エサをやっている外部の人がいる。野良猫はいらないので、エサやりを禁止してほしい。
54	違法な駐車車両の取締り強化すべき。
55	常に道路に車が駐車しているのにそのままにしている。
56	地元にお金を落としてもらうことを目的とした開発は必要と感じない。
57	史跡であることを大事に考えてほしい。観光の利便性のために建造物を作る場合は慎重に進めて下さい。
58	史跡も重要ではあるが、そこに住む住民が生活をしていくことを前提に日陰や木立、遊具などを利用できることを補償すべきだと思う。原っぱだけでは夏は暑くて遊べないし、遊具も規制で作れないというのは、住民としては理不尽に感じる。
59	市行政の動きが遅きに失したゆえ、散逸したおびたしい歴史遺産。今はもう、わずかに残るのみとなった東山道…まことに無念です。今からでもいい市行政は歴史保全と維持に真剣に取り組んで欲しいと強く！強く！願う。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
60	史跡の保存は大切なことですが、環境、緑の保全があってこそ。このエリアの良い雰囲気が出ているのではないかと思います。
61	自然を貴重した保存を望みます（人工的でない）。
62	史跡内に現在生えている大木は切らず現況のまま保存してほしい。観光のためだけでなく、市民の（子どもの）遊び場としてのスペースとしての考え方をもっと重視してほしい（尼寺後は遊べない）
63	観光としての収益を財政に貢献させようとしているのであれば大間違い。外部からの訪問者が多くなればなる程、ゾーン内の周辺住民が迷惑する結果になる。金銭的なうるおいを観光客に求めるのは間違い。自然は自然として残すべき。
64	観光客が来訪すると自然が・・・？
65	桜の木等、現状の自然環境は極力残して欲しいと思います。
66	桜や古い樹木は残して欲しい。
67	四季を通じて花で人を呼び込む。
68	毎日、史跡ゾーンの薬師遊園を利用しているが、お年寄りの観光者の数におどろく。その割には、トイレの整備も進んでおらず、交通の便も悪い地域だと思う。毎年のように史跡の工事がされているが、キレイな観光地ではなく、昔からある木や自然を残したまま、便利な観光地になると良いと思う。あと、黄緑ジャンパーの、毎日ゴミを拾ってくれるシルバーの方々、とても有りがたいです。
69	史跡は絶対に残すべきです。今、ある姿をなるべく変えない様に、昔に戻すのは大変です。
70	観光による集客や商業化に傾倒せず、今の雰囲気を大切にしたい。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
71	今のままで十分素晴らしい。(ぶんバス史跡武蔵国分寺跡バス停のコンクリート敷きは全く興醒めです。これ以上の開発は中止していただきたい。)(西元町の住民です)
72	天平文化に想いを馳せるひなびた、物静かな環境の維持。
73	余人を手を加えず、昔のままの姿を存続維持したい。
74	人間がつくるものは所詮価値を持たなくなります。最後は、自然だけが残ります。史跡エリアの価値はそれに尽きます。コンクリートで塗り固めることだけは避けていただきたい。
75	南北方向の道路が狭く、史跡周辺に到達しにくい。史跡においては復元建物を整備できるとよい。
76	歴史建造物を建てる、七重塔等具体的な物を建て観光客を集め国分寺の歴史を知ってもらう。
77	もう少し、見どころがあっても良いと思う。
78	まだまだ整備拡充を。
79	現況は自然環境の部分だった区域が撤去され、公園にされた。創建時の建築物の再現と史跡ゾーンに隣接する農地は買上げるべきだ。
80	何の工夫もなく、空き地がただ広がっているのが現状だと思う。春、桜の名所だと思うが、トイレもともとまち地域センターのみ。(利用できるかも周知されていない。)もったいないことだと常々思う。ドッグランを作ったり、有益な場所だという価値向上の取組みをすべき。
81	保存も大切ですが、子どもが遊べる空間として残してほしい。
82	侍の仮装で出迎え、馬車、足湯が欲しい。ゆったりとした時間を過ごせる場所にしてほしい。
83	史跡の模写施設をつくり、トイレ、ベンチを作っても、来たい人しか恩恵を受けず、交流人口の増加にはつながらず、更につなげる工夫を。
84	自由に散歩でき、トイレ、ベンチがきれいにかつ、生活道路としても駅まで使いたい。自動車は不可。
85	健康な高齢の方がますます増えます(ウォーカーも)。トイレ、ベンチの史跡らしい整備をなるべく多く。
86	高齢社会においてトイレは重要。現在も見学者は高齢者が多いようですから。
87	史跡、お鷹の道エリアの雰囲気は良いと思うので、安易な観光振興策はとらないで、現状をアップデート(トイレやベンチ等の整備、増設)することで魅力あるエリアにしてほしい。
88	無料で利用できる休憩施設の充実を計ってほしい。店舗に関しては利便性の向上だけを考えるのではなく、外観、内容とも史跡周辺エリアにふさわしいものが望ましい。
89	史跡ゾーンへのアクセスがあまりよくない。
90	細かく曲がった道のまま整備(案内板等)してほしい。人が楽しんで歩けるように。
91	雨天に対応できる観光ゾーンの設置。国分寺の物産・農産物販売所とカフェの設置。歴女がひとりで散策できる安心・安全のルートの確保(農地・樹林など植込みが多く、チカン注意の看板がある史跡などありえません。早急に願います!!夜は恐ろしい史跡ゾーンの実態を知ってください。)
92	トイレ・ベンチは重要ですが車の駐車場の確保。
93	高層マンションは歴史景観や自然景観の阻害となります。観光交流の場としての小規模な店舗や駐車場などの設備整備は大切です。
94	史跡は大きくは“路地の確認”は出来てはいるのであろうからそれを壊さぬよう、先を見据えた道路の計画を打ち出すべきだと思います。同時に観光用駐車場の確保も必要と考えます。
95	緑多く、湧水やお鷹の道の景観もすばらしく、もっと多くの人に訪れて欲しい。史跡の土地の保全には費用がかかると思うので、行政としてもっと努力工夫したらどうか。駐車場を何台か用意して、その料金を保全費用に当てるなど。ぶんバスができたとはいえ、車で来れるのもっとよいと思う。歴史ファンの人の散策をよく見かけるが、カフェなどの店舗があって雰囲気が向上すればピーターも増えると思う。景観の保全、向上も行って欲しいが、住人としては、道路状況が本当に危険だと感じる。子どもがいる世帯としては安全な道作りを優先して欲しい。
96	平日、史跡ゾーンで子供を遊ばせていると、道を聞かれることが多い。(駅、おたカフェ、おたかの道など)地図があるとよいのではないか。
97	西元町に住んでいます。先日、お鷹の道がわからず住宅街入口で史跡はどこですか?と聞かれました。4人の中老年の女性グループでしたが、迷うという事は案内標識がわかりにくいという事でしょうか?史跡発のぶんバスは観光客のために運行しているのですか?時間も1時間に1本...しかもバス内は左側はお年寄り、右側は赤ちゃんをかかえた親子にとバスに提示してあり、私たちはいつも小さくなって後ろに座るか立っています。しっかりと主旨を持ったバス運行を希望します。
98	子供にもわかる歴史(図解)の説明の看板を設置。犬、自転車の横切りを禁止。
99	ここも史跡なのかと思う程、雑草が茂ったような所があり、もったいないと思う。きれいに整えて何が建ってい

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
	たのかなど表示があると良いと思う。
100	史跡について、表示板で歴史の記述等を充実すべき。
101	史跡資料館で武蔵国分寺跡等当時の再現ビデオを作成して見る事が出来れば子供達にもわかりやすいのでは. . ?
102	たまに「国分寺まつり」等で使用する程度なので、もっと有効に活用できると良いのにな、とは常々思っていました。(空き地について)
103	七重の塔跡地や史跡ゾーンでの草地を手入れ、刈り込み等して美しく保っていることは好ましい。お鷹の道、通路脇の竹垣が壊れ、見苦しく、安全上も気になるが、市の管理下ではないのか。清潔で安全なトイレは必要だと思う。
104	二輪車の無料駐輪スペース、焼き野菜を出す露店
105	路上駐車(道路の半分を専有…安全面から)取締りが必要。タバコのポイ捨てが目立つ。
106	雑木林などの私有地が放置されていて、ゴミが捨ててあったり、畑の野菜を捨ててあつくさっていたり、堀が立入禁止のオレンジと黒の壊れかけた看板を使用していたり、外見上、見た目が悪いばかりでなく、暗くなって通るのも気持ち悪いので、どうかしてほしい。(電柱の地中化を進めてほしい。史跡と合わない。)
107	現在でも車が我がもの顔で安心して散歩もできない。タバコ等ごみも多くポイ捨てをやめさせて欲しい。
108	治安の件心配。
109	住宅地として居住している。人が多く来ると騒々しくて嫌だ。
110	今でもタクシーが寝ていたり、長い間駐車している車が多いのに、トイレなどできたらもっとそういう人の利用が増えそう。「散策」を中心にしてほしいので、家の前を車がたくさん行き来して子供に危険がおよぶことのないよう、駐車場を整備したりはしないでほしい。
111	現在、大型倉庫等を見かけますが死角になります。トイレは重要であります。夜間も閑散としていますし、防犯上、死角を重視した設置と設計を願います。ベンチもあちこちにありますが、浮浪者が来るのも心配です。芝生が多いので、シンプルな景観があれば良いと思います。
112	路上駐車がが多く、通行の邪魔となっている。
113	観光振興として現状以上の開発は必要ない。
114	史跡を大切に保存してほしいが観光地化はしてほしくない。
115	H19年に計画された「まちづくり計画」で何か進捗しているものがあるのだろうか。遅々として実現されていないと思う。実行力を疑う。
116	観光化するのか、創建時の再現、現況のまま拡充か他の国分寺史跡を参考にしたら。
117	取り組みの進捗が遅く中途半端。できる事からスピード感を持って成果をだすべき。
118	国分寺市全体の土地利用のバランスが良くないと思う。史跡の維持に関する植木の手入れ、草取り等の費用が大きすぎる。史跡周辺の空間(土地)はこれ以上、全く広げる必要はない。
119	最近いろいろときれいに整備され良い事だと思っています。
120	保存・維持コストの効率的使用。効果とのバランス。
121	歴史、自然、生活の調和を適切に保つことが大切です。人害や交通公害のない「交流」を検討してほしいと願います。
122	史跡保存しないと「国分寺市」の名の重要性もうすれて、小平や小金井と合併になってしまうと思います。

その他(抵当権者、居住者等)の自由意見	
123	花がない。1年をかけて桜が終わると何も無い。
124	もっと史跡周辺をアピールすれば良いと思います。武蔵国分寺跡に行っても原っぱになっているので、武蔵国分寺を再建しても良いのでは。
125	史跡近くに産地直売(このあたりの農家のもの)をまとめて売る市場を作ったら、人が集まって話題になるのではないのでしょうか。私は行きたいです。観光地としてもまだ不十分ですし、跡地は子どもたちの遊び場どまりになってしまっていると思います。観光地としてもっと盛り上げたいのであれば、駅からの行き方をもっとわかりやすくし、お店を増やしてできるだけ長くその場にいてもらえる努力が必要です。また、家族向けに子どもの遊び場(史跡を学びながら体をうごかし遊べるもの)などを増やした方が人が集まると思います。
126	西洋の公園のようにやすらげる場所として芝を育てた空間が良い。
127	史跡保存地区の空地には芝生をしきつめて、憩いの場として、活用することが望ましい。
128	車イス用トイレを設置してほしい。史跡と史跡の間の道路に陥没があるので直してほしい。

その他（抵当権者，居住者等）の自由意見	
129	東元町で飲食業をしているのですが，トイレを借りに来る人が多いです。周辺エリアにいくつかのトイレがあったほうが良いと思います。
130	ベンチがあれば良い。
131	史跡についての説明がもっとあったら良いと思う。
132	史跡の案内がわかりづらく，この史跡はどのようなものだったのかという説明をわかりやすく出した方が良いと思います。今のところ，私は平らな野っばらがあるようにしか思えません。
133	国分寺の歴史，自然と農業を活かした取組み（イベント）ができるといいと思います。
134	ねこが多過ぎる。エサをあげている人も多い。
135	観光客が増えると，ゴミも増えてくると思うので，ゴミ対策をきちんと考えてほしい。
136	トイレは治安上の問題から，やたらに増やさない方が良いと思います。

②低層住宅・小規模店舗調和ゾーンに関する項目

■主な意見

太字:自由回答で5件以上の複数意見がみられた項目

<p>来訪者が休憩でき、地域住民の利便性を向上させる小規模な店舗や休憩施設などの施設の立地</p>	<p>【店舗等の立地に賛成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レストラン・カフェ等の飲食店の立地 ○農作物等を活用した飲食店・販売店等の立地 ○低層住宅や自然環境と調和した魅力ある店舗の立地 ○日常の買い回り品等の店舗の立地 ○大人数で使用できる店舗の立地 ○お土産物店の立地 ○店舗立地による利便性の向上 ○史跡の認知度向上のためには必要 <p>【店舗等の立地に反対】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○店舗の誘導による住環境への影響 ○おたカフェ等の機能を充実することで対応可能
<p>史跡や崖線の緑と調和した景観の形成（外壁等の色彩コントロール等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○緑豊かな環境を活かしたまちづくりが必要 ○史跡と調和した景観形成が必要 ○維持管理されていない緑により道路の見通しが悪くなる ○緑の維持管理についてもあわせて検討が必要 ○ブロック塀は排除が必要
<p>良好な住環境を維持するためのゆとりある空間の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地分割による建売りの増加の抑制 ○敷地面積の最低限度を定めるべき

■地域属性別の自由意見の回答

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
1	跡地は犬の散歩にはよい場所なので同伴（犬と一緒に）出来るコーヒーショップなど。
2	観光客を多く希望するのであればトイレ等の設備がなくてはならない。飲料、軽食などの店も必要。史跡ゾーンも同じ考え。
3	素敵なお店等もあるのも良いが、あまり来訪者が増えるのも困る。
4	小規模な店舗は商売第一の利益追求のものにはしないでください。
5	史跡保存のため、低層住宅の方が良い。買物難民になりそうなので、小規模店舗でも小型スーパーでも必要！！
6	観光客を呼び込む、もてなす状況にないのが現状。案内板、トイレ、店等をセットで整備が必要。
7	車が細道に入り過ぎる。スピードおとせ。商店を作れ。
8	住居地域（一専）を解除してコンビニを作ることは絶対にやめてほしい。
9	飲食が目的で史跡を来訪する訳ではないので、多くは必要ない。
10	現状が最善、余計なものを作り自然をこわさないこと。
11	生垣化の推進（都・市の補助金による）。
12	国分寺跡を観光に来る人に、「跡地はどこか？」たずねられるケースがある。もう少し目立たせてほしい。国分寺跡は何もないため、もったいない。お花見の時期だけでもお団子等の風情がある出店をおいても良いと思う。桜はとてもきれいで、空間もとてもたくさんある。イベントをしてほしい。
13	現況と計画案とのバランスが難しいのでは。行政の担当者一本化にして担当者が長く専念し、現場住民ともっと会話をし情報収集してほしい。現場に来る事。役人たれ！
14	高くなる木は植えて欲しくない。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
15	現在の程度の店でいいと思うが、雰囲気をごわさない程度のものであればいい（オタカフェ、うどん屋）。
16	史跡に向かう道中とはともかく、その他のエリアは特に店舗は不要ではないか。他方、このエリアにはパン屋等がなく、住民としては不便。
17	生活している上では店舗があると良い。
18	生活用の店はもう少しあってもいい。
19	過度な店舗の必要性は感じられない。最低限度の施設のみで充分。おたカフェで足りているのでは。
20	今のままで休憩施設をつくる必要はありません。これ以上自然をごわされたくありません。
21	店舗はいらないと思う。ろくなことにならない。
22	行政の動きが遅きに失した。その責任は多きいから、既住者のリスクは最小限にとどめるべし。
23	あまり騒がしくなるのも不安がある。
24	多くの人に PR するためには、一度来て見てもらはねばなりません。その為には大型バスが入れる駐車場が必要です。その次には宣伝が必要です。おたカフェを拡充して地元の物産販売所をひろげる。
25	個別の住宅の庭などに緑を増やすだけでも、景観への効果は大きい。樹木を植えた場合の補助金を手厚くしてはどうか。地域内の「ぶんバス」ネットワークを充実させることで、自家用車をできるだけ使わず済むようにすれば、観光客（歩行者が多い）にとってもフレンドリーな街になりうる。
26	最低敷地面積を決めるべき。住宅がせまく、見栄えが悪い。（120㎡はほしい）住宅を建てる際の緑化義務もあつたほうがよい。その際少し建ぺい率を緩和してあげるのも一つの方法（東京の他の地域では実施している所あり）。
27	電柱電線をなくし地中へ埋めてほしい。植栽も重要。計画に積極的に含めてほしい。
28	東京の近くで、こんなにゆったりとして、自然と家が存在しているところは貴重です。敷地の狭い建売住宅の増加をなんとか食い止めることはできないでしょうか。店舗や案内板も史跡の雰囲気に合うものをつくってほしいです。全体の雰囲気づくりが訪れた人に魅力を伝えられる大きな要素だと思います。
29	生垣もよいが、道路がせまいので、きちんと管理されないと、道幅が狭くなり通行の妨げとなることも心配である。カーブミラーなども見づらくなるので、市で管理してほしいと思う。
30	緑といっても、その管理をどの程度してくれるのか。植えばなし、剪定も年に2〜3回では伸び放題で景観も悪いし、ゴミも捨てられやすくなる。
31	崖線地区の住宅は現状維持にしてほしい。住宅数を増やさないで。
32	大きな敷地の家が分割された家として売られるのは残念。
33	少子化時代に向け、一軒の宅地の広さをこれから建てる業者は広くしてほしい。安心して住めるよう、道を広くしてほしい。
34	固定施設で店舗をつくっても客が平日等にたくさん来るとは思えない。移動店舗や屋台を活用したらどうか。
35	広い駐車場のそばには各地で栄えている道の駅のようなものがあればもっと有名になるでしょう。
36	低層住宅と小規模店舗の調和の為には、第一種低層住居専用地域は継続も容積率は「100%」とすべきと考える。
37	長年、空地のままの都有地の活用を考えて欲しい。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
38	商店が極短に少ない。観光化するなら、レストラン等を増やすべきである。
39	緑多く、湧水やお鷹の道の景観もすばらしく、もっと多くの人に訪れて欲しい。史跡の土地の保全には費用がかかると思うので、行政としてもっと努力工夫したらどうか。駐車場を何台か用意して、その料金を保全費用に当てるなど。ぶんバスができたとはいえ、車で来れるのもっとよいと思う。歴史ファンの人の散策をよく見かけるが、カフェなどの店舗があつて雰囲気が向上すればピーターも増えると思う。景観の保全、向上も行って欲しいが、住人としては、道路状況が本当に危険だと感じる。子どもがいる世帯としては安全な道作りを優先して欲しい。
40	史跡周辺に快適なカフェ・レストラン等（時間は10:00〜17:00を）があるとより素敵ではないでしょうか（若い人も呼びこめる）。
41	来訪者が求めてくるのはやはり飲食店舗だと思います。
42	広大な史跡の一部にカフェテラスをつくり、軽食、お茶の利用、トイレを併設して、休息出来るようにする。経営は現在飲食店等を用いている人たちの協業とする。（主に近隣の店）
43	国分寺野菜をもっとアピール。使った料理なども。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
44	雨天に対応できる観光ゾーンの設置。国分寺の物産・農産物販売所とカフェの設置。歴女がひとりで散策できる安心・安全のルートの確保（農地・樹林など植込みが多く、チカン注意の看板がある史跡などありえませんが。早急に願います！！夜は恐ろしい史跡ゾーンの実態を知ってください。）。
45	農住調和ゾーンは、無医村みたいです。医療は国立市，府中市へ行くしかないのが現状！！農地からの直販した物販場所（JA）も出てきてください。
46	農地の活用が重要と考える。栽園に開放する。植木・野菜の販売店を設ける。
47	歩きながら野菜など購入できると良い。
48	お店もありながら、豊かな自然は残しつつ、良い共存ができればと思います。
49	高層マンションは歴史景観や自然景観の阻害となります。観光交流の場としての小規模な店舗や駐車場などの設備整備は大切です。
50	小規模店舗はある程度規制が必要。（種類・規模等）
51	国分寺史跡への来訪者が立ち寄りた魅力ある小規模店舗とは何か、どんな特色を持たせるか、持続性ある店舗経営が望まれる。
52	史跡に向かう道中とはともかく、その他のエリアは特に店舗は不要ではないか。他方、このエリアにはパン屋等がなく、住民としては不便。
53	コンビニがあるといいなと思います。
54	店舗はコンビニなどの充実化で対応できないか？
55	この地区は、年配者が多く、日常生活で買い物にも不自由しています。コンビニ等が住宅街の中にあると便利だろうなと思います。（例えば元町通りとか）ぶんバスも本数が増えれば、年配者の外出にも便利になり歩くこと、健康につながると思います。
56	具体的にイメージ出来ないが、来訪者が休憩出来る店（ここでしか買えないもの、来訪した記念になる物、史跡や国分寺のPRになる物を揃えた店）は必要と思う。
57	史跡周辺エリアの利便性の向上に役立ててほしい。
58	国分寺がもっと知られるためには、重要な事の1つだと思う。
59	車が細道に入り過ぎる。スピードおとせ。商店を作れ。
60	小規模だろうと大規模だろうと店舗の建設には反対。来訪者に便利といっても、住んでいる人は一生そこで生活するのだ。来訪者は1日だけである。
61	低層住宅にすべき。
62	今のままで良い。
63	基本的に自然を生かしたものが良いと思います。
64	緑の必要性はあるが、国分寺市内全体を見ると緑が南方面の史跡周辺に集中していて、住宅地には緑が少なく、美しくない。
65	史跡のまちにふさわしく美観，調和を保つことは大切である。
66	無料で利用できる休憩施設の充実を計ってほしい。店舗に関しては利便性の向上だけを考えるのではなく、外観，内容とも史跡周辺エリアにふさわしいものが望ましい。
67	塀が高く、樹木が茂り見通しが悪く暗い場所が見受けられる。防犯上も一考を要する。
68	痛みを伴うことが多いと思うので、まず地域住民，特にエリア内の方々に対するまちづくりへの意識改革，協力が必須と思います。そして協力していただいた方への手当，例えば塀を生垣に変えた際のその後の管理などをきめ細かな対策が必要です。
69	お鷹の道周辺の本多さん宅とかは現在のまま保存すべき。世代交代が行われて、売却されて近代建築の小さな家がたくさん建ったら景観を損ねて、自然の良さが失われる。本多さん宅周辺が国分寺の自然を一番表現している昔の姿です。これを守るべきで、観光収入等を考えてはいけません。
70	二輪車の無料駐輪スペース，焼き野菜を出す露店
71	観光客に媚びた町は長続きしない。自販機なども景観の妨げになるので限られた場所を決めて設置すべき。観光訪問客を長く引きつけるのは、ハードではなくソフト。
72	来街者は来てもあまりお金を落とさないの、住民満足度（利便性）を高めてほしい。
73	小規模店舗の出店はあり得るのか？（収益面）
74	この区画は元々ごちゃごちゃしているが、観光客の動線として考えずとも、お鷹の道から駅までの1本線のみ集中して戦略を立てるべきだと思う。
75	現在、居住しているところが土地が狭く、家も狭い。居住スペースを広げるためには高層にするしかない。制限されたら困る。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
76	制限する場合は、事前の説明が重要。

産線緑地保全ゾーンの権利者の自由意見	
77	制限する場合は、事前の説明が重要。

その他（抵当権者、居住者等）の自由意見	
78	史跡のまわりの道路は車が多いわりに、歩道などが整備されていないので、子ども連れで歩くと危険に思うときがあります。また、おたカフェ以外に休憩できる場所やおみやげを買う所がないので、もっと増やした方が人も多く訪れるのではないのでしょうか。
79	農地は大切だと思いますが、若い新しい人が増えない限り衰退していただけたと思います。自然が多く、この場で作られた野菜等を食べられるという利点をもっと上手く活用して欲しいです。子どもが遊べる場を増やしたり、農家の野菜等のアピールをわかりやすく増やすべきだと思います。
80	史跡近くに産地直売（このあたりの農家のもの）をまとめて売る市場を作ったら、人が集まって話題になるのではないのでしょうか。私は行きたいです。観光地としてもまだ不十分ですし、跡地は子どもたちの遊び場どまりになってしまっていると思います。観光地としてもっと盛り上げたいのであれば、駅からの行き方をもっとわかりやすくし、お店を増やしてできるだけ長くその場にいてもらえる努力が必要です。また、家族向けに子どもの遊び場（史跡を学びながら体をうごかし遊べるもの）などを増やした方が人が集まると思います。
81	6名以上のグループが多いので、席数の多い店舗があったらよいと思います。
82	店舗がもう少し欲しいです。
83	私は解りませんが、完成する頃には、数年経過すると思います。従って、今の子供達が働きやすい店を考案するのも1つかと思います。
84	地域の自然環境と地域住民の生活が大きく変わってしまうことは避けた方がよいと思う。
85	商業施設の誘致よりも、住民の住みやすさこそ魅力ある観光名所となるのではないか。
86	新しい店舗をつくるより、おたカフェをもっと充実させて欲しい。
87	街並が汚なすぎ。何かしら規制して統一感を出すべき。
88	歩道が確保されていない道が多い。危ない。不便。とくに国分寺駅からの133号の道。府中エリアからは歩道があるのに。国分寺は残念。緑も増やすのはいいが、手入れされていない印象。逆効果。
89	ブロック塀等の排除が望ましい。

③農住調和ゾーンに関する項目

■主な意見

太字:自由回答で5件以上の複数意見がみられた項目

農地の適切な保全	<ul style="list-style-type: none"> ○農地の宅地化の抑制 ○農地は残してほしい ○農地は景観的にも維持管理が必要 ○農地と住宅地の調和が国分寺の魅力 ○農地を活かした交流の場の確保
農地と調和した住環境を保全するためのゆとりある空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○宅地化の際の細分化の抑制
農地と住宅が調和した景観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○農地と調和したのどかな雰囲気がよい

■地域属性別の自由意見の回答

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
1	農地が将来も残るような方向が望ましい。住宅地化が進むのは望ましくない。
2	農地は現状以下にならない行政を。
3	農住調和…相続等でゼネコンが利益の為に勝手に事業計画を立ててはたして調和がとれるのか？
4	農家が燃やして発生させる煙が酷く、健康被害を受けており、止めさせたい。
5	農地は一地域に集約すべき。
6	もう少しまともな農作物作れんのか。
7	補助金制度を充実させて、損をこうむる人が出ないようにすることが大切。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
8	農家が建売住宅に代わってしまうのを見てずっと悲しく思っています。仕方ありませんが農地の存在が国分寺の大きな魅力だと思います。
9	どんどん畑が減ってきて住宅が建ってきて残念な気がする。
10	今の農地の保存は大事 もうこれ以上家は不要。
11	最近農地が売却され分譲されている所を史跡周辺で散見します。今後も相続等で農地は減少し保存は難しいと思われます。
12	農地を宅地化しないで済む方法はないのでしょうか。だんだん減っているのか心配です。
13	農地跡に建売住居が多数建つのは反対。
14	農地や農地と調和した景観に魅力をもって国分寺に移住する人も多数存在するところ。平成 34 年度以降も農地を農地として確保することは極めて重要。生産緑地をやめてしまうと国分寺の魅力自体がなくなり、市としての地盤の低下に繋がるため、生産緑地は必ず存続させるべき。これ以上の宅地は不要。
15	2022 年問題に伴う生産緑地の減少を懸念する。
16	せめて、現状農地、竹林、林は保全していただきたいと強く願います。
17	自然環境の保持の為に、農地は大切だと思う。しかし、現の農地の方々はどういう意識であるのかわからない。
18	生産緑地は 2022 年以降も自治体が主導して保護すべきである。緑の少ない国分寺市は全く魅力の無いまちになる。
19	農地を景観として見る事のできる物にしておく事が大切ではないか。
20	現在の宅地や農地が相続等によって他者に譲渡された際、密集した住宅を建てないように願います。農地を残してほしい。
21	駐車スペースをとると木が植えられない。そういう所がふえているように見えます。業者まかせの開発ではなく緑と陽光と風のある町を保ちたいと思います。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
22	のどかな雰囲気を残してほしい。
23	農家が川を私物化し、汚している実情がある。
24	農家の方が高齢化、世代交代などでも農地が維持できる施策を期待。
25	史跡周辺は市の財産として整備して発展を希望します。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
26	これ以上の農地の宅地化に歯止めをかけてほしい！
27	宅地が農地を侵すのは、やはりよくないと思います。できれば農地を宅地用に売り払わないでほしい。
28	農地→住居にかわる際にコストの安いアパートや狭い戸建てが増えると地域の品が下がるのでやめてほしい。
29	農地が住宅に変わっていくのを何とか規制できないか。
30	農地もどんどん売られ、住宅が建っている。世代交代したら、そのうち農地もなくなると思う。税の優遇のためだけに持っている人もいるのでは？
31	農地は農家のものであり、数少ない農家側の事情で存在していると思われる。いずれも宅地化されるものとして見ているが・・・
32	農地や農地と調和した景観に魅力をもって国分寺に移住する人も多数存在するところ。平成 34 年度以降も農地を農地として確保することは極めて重要。生産緑地をやめてしまうと国分寺の魅力自体がなくなり、市としての地盤の低下に繋がるため、生産緑地は必ず存続させるべき。これ以上の宅地は不要。
33	極力農地を減らさないで欲しいと思います。
34	国分寺の住みたいランクが上がっている中、農地の減少が心配。早目に手を打つことが肝要。
35	2022 年問題への対応。
36	柿が野放しに散乱している場所がある。きちんと管理してほしい。
37	都市農地はあっても良いが、農地周辺が雑然としていて見苦しい。周辺住民としては、来訪者には恥ずかしい思いをしている。農家の人達には農地の気配りをお願いしたい。(道路にはみ出した畷などは不潔だし、見苦しい)。
38	農地はもう少し見た目も考えるといいと思われるところもある。
39	住民がより農業に接することが出来るなら、農地確保は有効で「農業とともに暮らす街」として企画をつくれるだろうが、そこに農地があるだけでは意味がない。
40	農地と宅地の融合した街が国分寺の良さのひとつです！！
41	田園風景は国分寺の何物にも替えがたい魅力の源泉。大切にすべきだ。
42	農地の活用が重要と考える。栽園に開放する。植木・野菜の販売店を設ける。
43	農地を中心にして、その周辺の住民と来訪者が交流出来る場があると良いと思う。
44	農地の保全は大切だが、今後宅地化する傾向に歯止めがかかるとは思えないため、それを見すえたいうえでまぢづくりが重要かと思う。
45	農地相続で小間切れになり、全体計画に支障が出るので長期視野で計画を。
46	お鷹の道周辺の本多さん宅とかは現在のまま保存すべき。世代交代が行われて、売却されて近代建築の小さな家がたくさん建ったら景観を損ねて、自然の良さが失われる。本多さん宅周辺が国分寺の自然を一番表現している昔の姿です。これを守るべきで、観光収入等を考えてはいけなない。
47	農地の土ぼこりが室内に入り困っている。
48	肥料の「におい」も農住接近の場合考える必要もあるのでは・・・
49	調和するためには、農業従事者のマナーも大事(廃材の現場での消却(煙, 灰, 臭), 肥料(牛糞, 鶏糞等の管理…悪臭, 飛散)
50	農家の後継ぎが問題(農地の継続をどのように維持するか)。
51	農地があるのは良いことだと思うが、やや華やかさに欠けるとは感じてしまう。
52	農地に関して、自分の土地でないため、お答えしようがありません。
53	農地は少なくなってゆくのではないのでしょうか？
54	農地所有者が地元へ貢献しているとは思えない。したがって守る必要は感じない。相続税対策に過ぎない。
55	史跡エリア内での農地は景観にそぐわない。
56	農住調和ゾーンは、無医村みたいです。医療は国立市、府中市へ行くしかないのが現状！！農地からの

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
	直販した物販場所（JA）も出てきてください。

その他（抵当権者、居住者等）の自由意見	
57	相続税対策により、土地が売られ、宅地が増えていくことも考慮して欲しい。
58	畑があったほうが環境のためになる。
59	農地は大切だと思いますが、若い新しい人が増えない限り衰退していきただけだと思います。自然が多く、この場で作られた野菜等を食べられるという利点をもっと上手く活用して欲しいです。子どもが遊べる場を増やしたり、農家の野菜等のアピールをわかりやすく増やすべきだと思います。
60	都市型農業は農地以外で発展させるべきと思慮致します。
61	A.I.時代に農地が国分寺に必要とは思わない。50年後の都市として考える事が大切と思う。
62	住宅が多い方が良い。
63	市がいう「農地と住宅が調和した景観」のイメージがわかりません。

④崖線緑地保全ゾーンについて

■主な意見

太字:自由回答で5件以上の複数意見がみられた項目

まとまって残る斜面緑地の適切な保全	<ul style="list-style-type: none"> ○国分寺の特徴である緑の保全 ○防災・防犯を考慮した崖線の保全・整備が必要 ○緑地の宅地化の抑制 ○保全地域の指定等を含めた保全方策の検討 ○地権者との協力による緑の保全
-------------------	---

■地域属性別の自由意見の回答

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
1	西元町, 東元町は崖線の緑があるから, 魅力的なのだと思います。湧水も重要です。
2	史跡周辺は緑が多く残っている(昔からある緑)から良いと思いますし。ここが国分寺の重要なイメージの中心になると思います。ぜひ, 自然が多く残る, 里山のような場所になって欲しいと考えています。
3	緑が多いのが国分寺の良さなので, そのまま保全して欲しい。
4	現状維持。
5	市内の崖線の整備を!(災害等に備えて!)
6	市による土地の借上げないしは, 買い上げを考えたらどうか。
7	お鷹の道・真姿の池の環境整備をもっとしてほしい。ココは土日になると観光客が非常に多いです。(鎌倉みたいだねと観光客の話を聞いていると, うれしいですね!)
8	お鷹の道にて, 一部, 土の道があるので直して欲しい。
9	湧水地と野川の流域。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
10	だんだん減少するのが残念です。ぜひ保全の方向で保ってほしい。
11	可能な限り現況を維持すべき。
12	貴重な環境を維持することは義務だと思う。
13	自然の雰囲気をごわさない植栽や整備をおねがいします。
14	中央線特快停車駅徒歩圏にあって, この得難き好環境, これは国分寺のまた日本の財産とたりうる。ぜひとも, チャーミング・タウンを創り上げていただきたい!!
15	ある程度は手入れ等行い, 落枝などの事故防止も必要かも。
16	近頃起きる突然の自然災害に耐え, 適応出来る道路・家をつくる。斜面を日頃から考えている事が大切と思う。
17	地すべりなど発生しないように保つべき。
18	土地が低いので災害で被害が出ないよう保全, 整地してもらいたい。
19	今の緑地を宅地化しないでほしい。減ってしまったオナガやすずめなどの小鳥が営巣できるような自然な緑地を残してほしい。
20	東京でも珍しいこのような場所は全体をひとつの景色ととらえ, 建築物を作らないように規制してほしい。真姿の池の上に立つマンションも出来てから清水川の水の量が少し減ったようですし。
21	市有地化による緑地帯保全。
22	マンションが建ったりと以前よりもお鷹の道の川の水量が随分と減ってきている。
23	お鷹の道の整備(車の抜け道で通行量が多く, 歩行者の安全確保)。ホテルの復活が望ましい。
24	ほたるの住む川にペットボトルや靴などのゴミが落ちており長らく放置されていました。誰がそうじすることになっているのか。市に問い合わせようと思っておりました。最近ちよくちよくゴミが落ちており, 10年前当地に転居してきた折にはほたるが見られましたが最近では全く見られなくなりました。ほたるの住むきれいな川に戻してほしいです。
25	年々, ホテルがいなくなり, 再度, ホテルの保護に力を入れてほしい。
26	お鷹の道の一部が, 未整備であり, 雨の日などはぬかるみ歩きにくい。史跡だけでは往時の大伽藍は想

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
	像できない。VR などの活用を考えてほしい。
27	七重塔の復元。湧水を見るための場所を真姿池の他の場所に確保する。ホテルが殆ど見られなくなってしまったので養殖してもっと初夏のいどりを増やしたい。
28	名水を利用できるよう、汲出口又は水道の蛇口の様なものを作って便利に使える場所を作る。
29	現状、崖線緑地保全ゾーンは、住宅地が密集しており、もはや手遅れでは？
30	私有地なのでとは引返したことがありました。散策コースにできたらよいのですか。
31	こういう質問自体がナンセンス。適切な保全が必要と考えているのに何故このような質問するのか。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
32	西元町、東元町は崖線の緑があるから、魅力的なのだと思います。湧水も重要です。
33	史跡周辺は緑が多く残っている（昔からある緑）から良いと思いますし。ここが国分寺の重要なイメージの中心になると思います。ぜひ、自然が多く残る、里山のような場所になって欲しいと考えています。
34	嫁いで来て、初めて見た時感激した。大切にしてください。
35	崖線の緑が減っているのが残念、40年前はすばらしい景観でした。
36	崖線は国分寺の史跡と同位置づけに。
37	国分寺の緑大切。
38	今のままで良い。
39	今のままの状態をずっと残したい。
40	東京なのに貴重な景観だと思う。生態系にも影響があるはずなので、保全して欲しい。
41	現状の「緑」（緑地）は残して欲しい。
42	少しでも早く史跡周辺のスペース確保と崖線、緑地の保存！
43	緑豊かなのは良いが、少々暗い気がする。防犯の点からも、外灯を増やすなど照明を工夫して欲しい。
44	現況でよいと思う。但し安全性を向上させること。
45	このゾーンは100%保全。宅地開発などもってのほか。今のままの景観を保つために税金を使ってください。
46	貴重な緑のゾーンであり、残せるものなら残したいと思う。住宅がびっしり建ったりすると、せっかくの崖線が台無しになる。
47	都の自然保護条例（東京における自然の保護と回復に関する条例）により、保全地域に指定→買上げ可。緑地内に歩道、あずま家の整備、トイレの整備。
48	森林はこのままでは徐々に蝕まれることでしょう。所有者も税を払い管理もとなると、善意に頼っていても良いのか。自然保護条例により指定のうえ、必要に応じて都で買上げ、市と協働で管理することにより、緑地として安定し、より良い憩いの場として生まれ変わるでしょう。
49	民有地でも勝手に変えることがないよう指導していただきたい。
50	自然は残すべき。周りの環境整備も自然破壊につながる。外観、景観は周辺の家と一体になって残っているものです。本多さん宅は家（武家造り）も樹木も黒板塀もすべて景観に寄与しています。代が変わって取り壊しになったら台無しです。この編の対策を考えないと個人の考えで破壊されたくないです。
51	以前は、お鷹の道の小路にホテルを放った時代があった。あの頃が懐かしい。再現されては如何でしょうか。桜を増やし小金井公園を越えたのはよかった。秋季のカエデも増やしてもらえたらうれしいです。
52	真姿の池 お鷹の道など観光名所は大切にしたいです。
53	蛍の住む川も中途半端、やるなら徹底した観光振興を望む。
54	崖線を適切に保存しないと湧水が枯れます。
55	自然の摂理に反せず、わき水の源泉となっている。重要な自然環境保護に努めてほしい。
56	湧水の確保は有事の対策にもなる。
57	制限を考える場合は、十分な説明、理解を得られるようにしてください。
58	ゴミなど捨てられないような管理が必要か。
59	駅から史跡ゾーンにつなぐ動線として、しっかりと見せる化すべき。等々力緑地とのつながりをアピールしても良いか。
60	今、崖線緑地は観光資源としての価値が全く見えない。
61	目で見れる崖線緑地をできれば歩くようにする（歩道を作る）とか。
62	市の税金の使い方からいうと、もっと老人の福祉など切実な問題に目を向けて欲しい。
63	森林の中で、子供から大人までが自由に学習できる傾斜を生かした建物を建築して欲しい（図書館は必

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
	要ない、IOT 時代ならではの自習空間と木立の景観)。

崖線緑地保全ゾーンの権利者の自由意見	
64	制限を考える場合は、十分な説明、理解を得られるようにしてください。

その他（抵当権者、居住者等）の自由意見	
65	このような緑地が希少な生物の生息地になっていることもあるので、できるだけ開発等をさげ、ありのままの姿をのこして欲しい
66	ホタルの棲む川にホタルはいるんでしょうか？ホタルが沢山出てくれるようなきれいな川を維持してほしいです。
67	崖線から湧き出る水を小川として活用できるようにして欲しい。道路の側溝に流れ込んだり、行き場を失った湧水が見受けられる。
68	名水百選は残す価値があるでしょう。
69	近代都市の中の緑地として、考えなおす時代だ。
70	緑は大切ですが、守っているだけではいずれなくなってしまうと思うので、ウォーキングゾーンなどにして、保全している所を見てもらえるようにするべきです。今日まで、保全ゾーンがあることを知りませんでした。
71	鳥達の居住空間によって、観光する人がその音を聞き、豊かなイメージがつかかも？

⑤都市計画道路について

■主な意見

太字:自由回答で5件以上の複数意見がみられた項目

史跡内を横断する都市計画道路国3・4・1号線の見直し（廃止も見据えた検討）	【見直しに賛成】 ○ 史跡保全の妨げ ○ 車の増加による住民や来訪した歩行者等の危険の増加 ○ 住環境や緑豊かな環境が損なわれる ○ その他の地区内道路での代替による廃止 ○これ以上交通量が増えてほしくない ○周辺の都市計画道路が整備されれば必要がない ○道路整備による通過交通の増加 ○整備費用に対する必要性が低い ○地域が分断される ○道路整備以外でぶんバス等の交通環境を充実すべき 【見直しに反対】 ○安全に歩け、通行できる道路の確保 ○現状が不便なので ○交通トラブルも多く危険なので
---------------------------------------	--

■地域属性別の自由意見の回答

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
1	計画道路により、史跡保存が適切でない方向へ流れていくと考えます。
2	史跡ゾーンを分断するようなことは決して認められない。むしろ生活者以外の通り抜けを禁止して欲しい。
3	史跡内を横断する道路は、建設しないでいただきたい。計画廃止の方向を望む。
4	都計道路3・4・1号線は、史跡を完全に分断することになり市で進めている史跡保存政策にも反するので反対です。
5	国3・4・1号は廃止にするべき。史跡周辺はできるだけそのままのこすべき。道は必要ない！
6	国3・4・1号線は住環境の悪化（騒音等）につながり見直すべきである。（現在は静かな環境）
7	都市計画道路国3・4・1号線は廃止したい。できる限り、住宅、店等ない緑を残して欲しい。
8	開発という自然破壊を防ごう。
9	植木交換通りを都市計画道路に代替したほうがよいと思う。
10	現状のままで良い。
11	国3・4・1号線は、通過車両が増えるだけであり、住民にメリットはなく計画を廃止するべきである。
12	国3・4・1号線は廃止すべきだと思います。
13	100%無理だろうから、廃止をした方が良い。
14	国3・4・1号線は不要。廃止すべき。
15	国3・4・1号線計画は廃止すべき。
16	国3・4・1道路は反対です。
17	早急に都計道を推進すべき！
18	現状が不適切なのか、説明が不足している。
19	居住者の意見が重要だと思います。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
20	国3・4・1号線の整備は不要。史跡を分断するのは現実的ではない。
21	このエリアに大きな道路をつくると雰囲気をごわすし、危険だと思います。
22	史跡保存を優先すべき。国分寺市の価値を損なう。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
23	周辺の道路が整備済み若しくは整備予定であるため、国3・4・1号は不要。車の数がこれ以上増えると子どもの安全が保てない。他方、国3・4・11号線は早急に整備すべき。(歩道がなく、極めて危険)
24	危険。散策を楽しむ人が多いのに交通量を増やしては危険だし、車で来る人が増えれば駐車場も必要となる。
25	史跡をゆっくりと散策したり、散歩したりできる今の現状を維持しつつ検討してほしい。車がどンドンと走るような大きな道路は困る。静かな環境が守られる方向が良い。
26	国3・4・1号は廃止してもいいと思うが、元町通りの幅員拡張は検討してほしい。
27	生活道路は確保してほしいが、史跡エリアに交通量の多い幹線道路は不要です。
28	史跡内横断道抜け道として交通量が増えるだけで、居住者のメリットは少ないと思われます。
29	道路の拡大よりも、ぶんバスを利用しやすくし、高齢者や観光客の利便性を高めるべき。
30	廃止すべき。
31	廃止の方向で取り込むべき
32	交通トラブルも多く、面積からして1本幹線道路は必要。スクールゾーンの多さもあり住み分けする必要あり。
33	早く広い道路を作って下さい。
34	地元の農家の人達の意見ばかり(この人達は既存の土地・住宅等を手放したくないので反対)に従わないで欲しい。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
35	史跡の中を車がビュンビュン通るのは史跡の価値が落ちる。
36	史跡内は廃止。迂回路を整備。
37	車がはげしく行き交うようになると、静かな史跡の良さが損なわれる。廃止を見据えて検討していただきたい。
38	道路が史跡をつぶすようなことはあってはならないと思います。都道があまり無茶なら廃止すべき。
39	全国一の国分寺史跡であることから創建時の盛大だった状況が見たい。
40	周辺の道路が整備済み若しくは整備予定であるため、国3・4・1号は不要。車の数がこれ以上増えると子どもの安全が保てない。他方、国3・4・11号線は早急に整備すべき。(歩道がなく、極めて危険)
41	交通量が増えれば事故も増える廃止希望。
42	道を広げないでほしい。(車が増える)静かにゆっくり歩ける道に!
43	府中街道、国分寺街道をつなぐ抜け道として、東八道路の渋滞を避ける車の出入りが多くなり、車が多いと歩行者、自転車への危険が増える。
44	今でも車が多いと思っているのにやめて欲しい。現在、国分寺がすべき事は国分寺街道を広げること。
45	高齢者・子どもには狭い道路の車の乗り入れは大変危険。廃止は無理でしょうか。
46	交通量が多くなると史跡内の樹木が枯れてしまうのでは。
47	こんな道路が出来たら自然の良さが失われる。絶対反対。東八を使う様にすればいい。あるいは駅の前道(国3・4・3号)を広げる。
48	交通量が増えるのは生活しにくくなる。
49	廃止は住民にとって大きな生活問題、道中の検討、車種、時間帯の規制するなど。
50	元町通りは、狭いのに抜け道として交通量が多く心配だが、通学路でもあるので、大きな道路になってさらに交通量が増えるのが心配。歩道の確保をしてほしい。
51	史跡の保存は必要。ただし、道路の整備は必要。現状細い道路が多く、生活上大変不便。
52	道路については現状をあまり変える必要はない。(信号などは別)拡幅などと交通量が多くなるだけで生活はかえって不便になる。国3・4・1号は必要ないから反対すべきである。
53	南北を繋ぐ国分寺街道、府中街道を整備し、東西は東八道路、多喜窪通りで機能を担い、史跡に車を入れない計画を。
54	国3・4・1道路を作るよりも、国3・4・11、多喜窪通りのブルーの点線部分を至急広げてほしい(歩道、車道共に狭くて非常に危険)。自転車道路を作ってほしい。国分寺史跡は現状維持で良い(現在も都心に在りながら武蔵野の面影が色濃く残り、とても良い)。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
55	10年後、20年後 人口はどんどん減っていくので、インフラ投資は抑えてもらいたい。
56	これ以上地域を分断する必要なし。
57	国3・4・1号線は廃止すべきだと思います。
58	廃止に賛成です。
59	廃止に賛成です。
60	必要性があまり感じられませんので、見直した方がいいと思います。
61	元町通りは通行量が多いにもかかわらず曲がっていて狭い。子どもを一人で通らせられないし、子連れで通ることも避けている。車幅の広い外車と対向車がすれ違えず立ち往生しているのを目撃したこともあるし、とても危険。なぜ、計画を廃止するのか理解できない。危険な道なので利用しないが不便。道沿いの地権者の反対に迎合しているのでは。
62	道路が狭くてとても危険な所が放置されているので早く道路計画を進めて下さい。
63	現状、最低限の道路状空間の確保もされていないのに、国3・4・1号線の廃止など絶対に反対。最低でも6m以上の道幅が必要！
64	不便なので見直しはやめるべき。
65	良い計画道路と思います。
66	現在における必要性を考えた結論を出して欲しい。
67	国分寺市が廃止とすれば廃止できるかどうか、明確にしてほしい。
68	国3・4・1号線の整備は大切だが、具体的な見直し案がわからない。
69	樹木を切ったりせず、緑を残すことを大事にしながらか検証はして欲しいです。

崖線緑地保全ゾーンの権利者の自由意見	
70	国3・4・1号線は住環境の悪化（騒音等）につながり見直すべきである。（現在は静かな環境）

その他（抵当権者、居住者等）の自由意見	
71	国分寺には大きな道路が無いが、史跡を次の世代に残していく事も大切だと思う。
72	国3・4・1号を廃止し、元町通りを拡幅すべき。
73	元町通りの拡幅は必要。それが実現出来れば廃止でもいいのでは。
74	東西を結ぶ東八道路や多喜窪通りが混雑しているわけではないので、これ以上の東西を結ぶ道路の必要性を感じない。
75	廃止すべき。
76	道が狭すぎて、危険しか感じられないです。史跡や緑地保全よりも、安全に歩ける道の方が重要なのではないのでしょうか。
77	計画に沿って進めるべきである。
78	この道はなくなったら困ると思います。
79	話を聞くかぎり、難しそう。
80	道路が廃止された場合、人や物の流れにどれほどの影響があるかを検討する必要がある。
81	車社会、車の大型化の時代、道路のありようは考えてもよい事だと思います。ただ、国分寺の景観を考えると悩みます。

⑥地区内の道路について

■主な意見

太字:自由回答で5件以上の複数意見がみられた項目

地区内の道路状空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な道路の整備が必要 ○現状の道路が狭くて危険 ○歩行者の安全性を重視した道路づくり ○子どもが安全に歩け、自転車に乗れる環境の確保 ○ぶんバスが通れるような道幅の確保 ○現在の環境を壊したくないので現状でよい
生活道路ネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○元町通りの（一部）拡幅に取り組むべき ○道を広げることで交通量が増えることが不安 ○歩行者も車の運転も気がつかっており不便 ○緊急車両が通れる道幅の確保が必要 ○現状の道路は通行しづらい ○道が狭いのに交通量はあるため危険

■地域属性別の自由意見の回答

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
1	今ある道路が狭いので、少しずつ広げてもらえれば安全と思う。
2	昔からの道路なので狭い。
3	道幅がせまい。夜間暗いため危険を感じる。2 m未満の場所は改善すべきと思う。
4	道路が狭い。
5	歩道の整備を早急にしてほしい。
6	最近、小さな子どもが増えてきて、そのうち飛び出した子どもが事故に会うのではないかとひやひやしている。安全を第一に考えて欲しい。
7	史跡公園のみが整備され、必要最低限のバスが増便されれば一番良い状態で保存できるかと考えます。派手な史跡ではないため、多くの観光集客を望む事は不可能、一時的に増えたとしても掛けただけの資金回収は難しい。
8	今の環境を壊してほしくない。今の道路で十分生活に支障はない。
9	このエリアは、現状が最善であり、余計なことはしない。
10	現状のままで良い。
11	現状維持を希望する。事故のない静かな環境を気に入っている。
12	今のままで良い。
13	東西の連絡は重要ではない（車が増えるだけである）。
14	元町通り全体を拡幅すると、車の速度が上がるので、拡幅には反対。ただし、対向車とのすれ違いが容易になる程度に狭すぎる箇所は要拡幅。
15	道中を広げると交通量が増える。史跡ゾーンはのんびりした地域が良いと考えます。
16	余り道路広げて欲しくない。
17	通行しづらいから、史跡が保存され、不必要な来訪者が増えない。
18	元町通りの拡幅は反対です。泉町方面からの抜け道となっており、広げれば今より自動車の通行が増え、スピードも上がります。駐車も増えます。危険で事故が発生します。現状ではお互いに自動車同士がゆずり合っており、徐行運転で安心です。
19	歩行者も車の運転も気がつかっている。道路を広げて欲しい。
20	鳥と空気が良いゾーン。車は入れない。
21	元町通り、史跡通りを車禁止に。
22	史跡ゾーンを分断するようなことは決して認められない。むしろ生活者以外の通り抜けを禁止して欲しい。
23	植木交換通りの国分寺街道からの入口を広げてバスを府中街道と通してほしい。
24	車が細道に入り過ぎる。スピードおとせ。商店を作れ。

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
25	生活道路の電柱が邪魔！
26	電柱の地下化の推進を！
27	史跡周辺エリアのまちづくりも良いが、まずペットボトルを回収しないまちが問題である。住民にやさしくなく、小金井市のゴミを受けながら、自分の町のゴミ回収ができないとは本末転倒である。高い税金が住民の要望に使われないのは残念で仕方がない。ぶんバスをせめて 30 分に 1 本にして欲しい。
28	道路側面の整備清掃。
29	国分寺街道が狭く歩くのが危険である。歩道の確保に努めて欲しい。もしくは、横に別の道をつくって欲しい。
30	史跡エリアにぶんバスを運営していただきありがとうございます。この地域にはお年寄りも多く、バスの時刻より早くいることも見受けられるので、各バス停に簡易なものでも良いのでベンチなどを置いていただけると、バスが来るのを座って待つことができると思うので、検討していただけたら幸いです。よろしく願い致します。
31	泉町交差点から黒鐘公園入口までの府中街道東側歩道は狭く傾斜もある。交通量の多い道路は事故発生の危険度が高く、可及的速やかに拡幅工事を行って頂きたい。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
32	昔の農道がただ舗装されただけの道路ばかり。側溝もなく、舗装はつぎはぎだらけ、もう少し計画的に整備して欲しい。
33	道がせまく歩きづらい。歳をとったらとても住めないと思う。車の運転も道がせまくひと苦勞。道路整備は今さらだが絶対必要。ブランド力のある街は道路も整っている。
34	国 3・4・1 号より入った道路の整備が悪いところが散見される。
35	国分寺の道路は「こわい」。
36	現在の道路事情は、観光云々以前の問題だと思う。
37	車の通り抜けに便利な道路をつくる必要は全くない。歩行者にとって便利で安全であることが重要。
38	車より人を優先して欲しい。
39	史跡エリアには、子どもたちが安心して歩くことのできる生活道路があればよい。史跡エリアの幹線道路はエリアの価値を劣化させてしまいます。
40	道が狭く、子供を連れて歩く際に不安大。
41	この地域内でぶんバスを希望する。特に道路が狭い。
42	なるべく道幅を拡げ車が楽に通行出来る工夫をすべきです。史跡のそばに「ぶんバス」の停留所が出来たのだから周辺を充実させる。
43	ぶんバスが一周出来る道路（植木交換道路から国分寺街道へ）を作ってください。
44	個別の住宅の庭などに緑を増やすだけでも、景観への効果は大きい。樹木を植えた場合の補助金を手厚くしてはどうか。地域内の「ぶんバス」ネットワークを充実させることで、自家用車をできるだけ使わなくて済むようにすれば、観光客（歩行で来る人が多い）にとってもフレンドリーな街になりうる。
45	ぶんバスが元町通りを通るルートがあるべきでは。史跡へぶんバスがうまく行き来できるように。そうすれば市外の方もわかりやすいし。観光の方にも利用しやすいのでは。又、そのルート用の自転車用の道あったらいいのでは。
46	細い道の角は塀の角切りを義務付ける様にしてほしい。元町通りのぶんバス運行をお願いします。
47	国 3・4・1 号線にぶんバスを通してほしい。
48	元町通りにもぶんバスが通ることを希望します。（小さなバスでもいいので）ぶんバスが通る位の道路を確保できるとよい。また歩道がごく一部しかないので歩く時に怖い。
49	確かに道は狭いが、広げることで安全性を環境面に不安が残る。現状のままで良いと考える。
50	あまりにも細すぎる道はやはり不便。車両が通れる事は大切。一方通行などを使ってうまく整備して欲しい。
51	消防車、救急車が入れるような道路に、まちづくりは道路から！！
52	道路幅が狭くすれ違い不可能な場所がありやや不便です。
53	特にお鷹の道は歩行者が多いにもかかわらず道幅はせまく、抜け道とし車輛がかなり多く通行し、相互通行の為すれちがい時には歩行者が危険である。
54	史跡公園内にある無舗装の通路の車の通行を制限してほしい。近隣住民の歩行者と自転車を優先してほしい。車を通すのなら舗装すれば良い。
55	車がすれ違えなかったり、人がいるのに若者が自転車をとばしてきたり道中の狭さは問題です。交通規制で

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
	改善できますか？
56	大型車通行禁止。
57	無駄にお金をかけて道路を増やすのではなく、譲合いを推奨する等の施策を。
58	道が狭いのに双方向通行で歩くのが危ない。運転しづらい。道路整備が難しいなら、せめて一方通行にしてほしい。都心部では広い道路も一方通行にしている。
59	道がなくて誰が困っているのでしょうか。道は狭いけどゆずりあっているし、どうしてもいうなら一方通行を増やせばいい。
60	車両での観光等をさせないこと。
61	あまり車が入って来て違法駐車が増えるのも困る。
62	ぶんバスの植木交換通りの延伸。
63	“スピードバンプ”の設置、幅員の狭い生活道路の電柱の地中化に取り組んで欲しい。
64	住宅地内の道路が非常に狭い。信号を設置できない（費用がかかる）場所には海外でよくある“スピードバンプ”の設置を強く求める！交通事故をかなり減らせる。
65	電柱電線をなくし地中へ埋めてほしい。植栽も重要。計画に積極的に含めてほしい。
66	生垣もよいが、道路がせまいので、きちんと管理されないと、道幅が狭くなり通行の妨げとなることも心配である。カーブミラーなども見づらくなるので、市で管理してほしいと思う。
67	ずっと国分寺にいますが、時間が止まっているような町だと思います。道路は子供の頃とほとんど変わらず整備が進んでいません。（史跡のまわり）ブランド力をあげたいなら自然のところには手をつけず道路はきっちり整備するなどメリハリが必要では。
68	中途半端にならない計画を
69	市外から観光客が車で来れるようになると住民、とくに子供たちの安全が阻害されるおそれがあるので慎重に検討すべき。
70	消防署（西元出張所）から武蔵国分寺楼門にかけての曲がった坂道（白鳥幼稚園沿いの道）がガードレールすら整備されておらず極めて危険。事故の起こる前に安全確保のための整備が求められる。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
71	道は昔のままであり、何らかの整備は必要。
72	余裕のある生活道路を。
73	道幅の確保。
74	幹線道路や6m以上の道路への動線が脆弱であり整備を急いで欲しい。
75	エリア内の道路が狭いので4m道路は確保すべき。
76	とにかく国分寺の道路は貧しく、計画性がなく美しくない。かつてからあった農道の利用ばかりでなく、きちっとした道路づくりをして欲しい。
77	現状、最低限の道路状空間の確保もされていないのに、国3・4・1号線の廃止など絶対に反対。最低でも6m以上の道幅が必要！
78	道路が狭すぎる。幹線道路や6m以上の道路への動線が脆弱。
79	道路の幅がせまく、危険である。
80	道が狭い。
81	南北方向の道路が狭く、史跡周辺に到達しにくい。史跡においては復元建物を整備できるとよい。
82	エリア在住30年になるが、このエリアの道路は全く改善されていない（変わっていない）。史跡を整備して、まちの魅力を向上させ、人口・仕事を増やすという目標に対しては、インフラが整っていない。
83	狭い道路が多いので、決まった道路が通り道になっている感じです。駐車スペースもないので、今後、考えてもらいたいです。
84	歩行者の安全に配慮した設計を！
85	現在でも車が我がもの顔で安心して散歩もできない。タバコ等ごみも多くポイ捨てをやめさせて欲しい。
86	来訪者、居住者の快適で安全な道路の整備を優先。
87	自然を残してほしい。整備するだけでなく、ありのままの形も。道路を広くする＝車優先＝車がスピードを出すとなるので、歩行者が安全に走行できる工夫を考えてほしい。犯罪防止重要。
88	道路について考えて下さい。計画にあたっては、お年寄りが散歩の途中、一息つけるように手摺（ガードレールを少し高くした）がところどころに必要。東元町4丁目に住んでいて、買い物に不便を感じたことはあり

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
	ませんが、街灯の間隔が長く若い女子や子供（小、中学生）が夜間、歩くのが心配。道幅はゆとりがないと（車と歩行者、車と車がすれ違う時）心配です。
89	市外から観光客が車で来れるようになると住民、とくに子供たちの安全が阻害されるおそれがあるので慎重に検討すべき。
90	子どもが安心して自転に乗れるような道路にしてほしい。
91	保育園・小学校・中学校があるので、安全な道路を望みます。（明るい、見通しの良い、通行しやすい、ブロック塀がない等）
92	子どもが安心して通れるよう、路肩が欲しい。
93	国分寺には整然とした美しい道路が少なく、狭く、曲がりくねった道が多く困っている。駅からのバス便も悪く、せめて小金井など隣の駅へのバス便を考えて欲しい。史跡からのぶんバスも利用者が少ない。理由は不便だから。国分寺街道方面の住宅が多いところまで路線を延長して欲しいし、西国分寺駅まで行ってくれないと意味がない。利便性を真剣に検討して欲しい。税金の費用対効果を良く考えてください。
94	史跡周辺エリアの活性化のため、コミュニティバス等の循環等によるアクセス性の向上が必要。史跡周辺エリアのPRが必要。
95	現状に不満はありません。道路を改良すれば、それだけ車両が増加し事故の危険性が高まります。
96	狭い道路だから、歩いて楽しい。車の通行は現状のままでよい。
97	元町通りは幅が狭く、見通しも悪いので歩みにくいが、植木交換通りは一直線で幅もあるので大丈夫だと思います。
98	元町通りの拡幅に取り組むべき。観光振興にもなる。
99	地域内の通過交通の増加に対処する事と、史跡保存を両立させるなら、元町通りの拡張とそのための積極的用地買収を進める。
100	武蔵野の昔の面影が好きで10年前に引っ越しして来ました。たしかに細い道が多いと思うが元町通りを少し拡張してもらおう程度にして頂きたい。
101	道路拡幅→高齢者が歩きにくくなる。東八道路でさえ、高齢者は信号内で渡りきれないので、広い道路は住宅地内に不要。車輛の進入も危険。
102	道幅が狭く歩行者専用がなく危険多々。
103	現在の東八道路の実態をご存じか？10年前に無かった道路が甲州街道並になっていて信号嫌いの車が一台通るのがやっとの道に入ってきて人が歩きのに危険です。
104	緊急車両のための道幅の拡張は賛成だが、抜け道としての利用が主とならないように工夫すべき。（直線道路ではなくする等）
105	道路網の整備を最優先で取り組んでほしい。緊急車両の通行に課題を感じる。車で来る観光客はどうするんですか。街灯が少ないもしくは暗く、安全性に課題がある。緑地化し無人化したエリアの安全性を検討して欲しい。現在も公園周辺に車で寝泊まりしている不審者がいる。
106	史跡は大切にしたいと思っています。道路の整備が進まずいつまでもせまい道路で危険です。至急進めてほしいと思います。特に狭い道の曲り角にブロック塀があり緊急車が通れない。
107	旧来の道路はとにかく狭い。車のすれ違いも、歩くのもヒヤヒヤして通っている。拡幅が無理なら一方通行にして歩道を設けることが早急に必要。
108	道が狭く、見通しが悪く、とにかく危険。これまでの都市計画の失敗だと思う。国分寺に移住し8年程だが、狭い道での出会い頭の事故を見たり聞いたことが10件近くあり、以前住んでいた土地との違いに驚くばかり。
109	道路幅が狭く交通量が多いので危ない。夜は暗く、死角が多い。
110	道が狭いわりに交通量があり、見通しの悪い道は自転車がつっこんで来るので、見通しを良くする or 自転車専用道路をもうける、などしてほしい。
111	鳥と空気が良いゾーン。車は入れない。
112	元町通り、史跡通りを車禁止に。
113	ここ数年住居が増え、それに併せて、自動車が増え、道路の狭さが住民の通行に影響を及ぼしている。一方通行道路の導入等を考慮すべき。
114	居住者以外の車両のスピード取り締まり、通行制限が必要。
115	通過交通の改善と国分寺街道の歩行者安全の改善が急務。
116	現在でも住宅が多くなり、ほとんどの家が車を持っていてこれ以上、車を入れないようにしてほしい。
117	居住者以外の車両抑制。スピードを出させない工夫。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
118	植木交換通り沿いに住んでいますが、東八道路の抜け道となっていて、車両の速度が速くマナーも悪く迷惑しています。
119	道が狭い、一方通行、1車線を改善してほしい。スクールゾーンの時間でも自転車がつかんで来るのは危険。
120	植木交換通りは国分寺街道から入りにくい。拡張すべき。
121	植木交換通りの出口付近（府中市？）国3・4・1 1に出る所がせまいので、出づらい。どちらかと言えば元町通りを使ってしまおう。この交差点が変われば変わる？でも国分寺街道もよく混むので行き先によっては使わないか？国3・4・1 1を整備してほしい。
122	植木交換通りが域外自動車の抜け道として使われており、危ない。対策が必要ではないか。
123	幹線道路（府中、国分寺街道）から史跡道路への入口部の拡幅。
124	車が細道に入り過ぎる。スピードおとせ。商店を作れ。
125	消防署（西元出張所）から武蔵国分寺楼門にかけての曲がった坂道（白鳥幼稚園沿いの道）がガードレールすら整備されておらず極めて危険。事故の起こる前に安全確保のための整備が求められる。
126	雑木林などの私有地が放置されていて、ゴミが捨ててあったり、畑の野菜を捨ててあつてくさっていたり、堀が立入禁止のオレンジと黒の壊れかけた看板を使用していたり、外見上、見た目が悪いばかりでなく、暗くなって通るのも気持ち悪いので、どうにかしてほしい。（電柱の地中化を進めてほしい。史跡と合わない。）
127	史跡に行きやすくする為、ぶんバス万葉ルートの本数を増やして欲しい。せめて1時間に2便欲しい。
128	この地区は、年配者が多く、日常生活で買い物にも不自由しています。コンビニ等が住宅街の中にあると便利だろうと思います。（例えば元町通りとか）ぶんバスも本数が増えれば、年配者の外出にも便利になり歩くこと、健康につながると思います。
129	西元町に住んでいます。先日、お鷹の道がわからず住宅街入口で史跡はどこですか？と聞かれました。4人の中高年の女性グループでしたが、迷うという事は案内標識がわかりにくいという事でしょうか？史跡発のぶんバスは観光客のために運行しているのですか？時間も1時間に1本・・・しかもバス内は左側はお年寄り、右側は赤ちゃんをかかえた親子にとバスに提示してあり、私たちはいつも小さくなって後ろに座るか立っています。しっかりと主旨を持ったバス運行を希望します。
130	道の凸凹ひどい。期末近くでなくても直したら。
131	国分寺街道の歩道をつかってほしい。
132	まず国分寺街道を府中並にして欲しい。実情がどうなっているかよく調べて欲しい。これだけでも莫大な費用で税金を使うことになる。史跡周辺は子どもの通学道路があり、車の通過のための道路は不要。事故が増えるだけ。市役所は責任をとるのか？
133	道路の両側、バス停などには、木陰となる樹木を配置したい。
134	ぶんバスの1時間まち！！気持ち良く待てる場所があれば、来訪者にやさしいぶんバスになります。
135	幹線道路（特に国分寺街道の拡張を、多喜窪道路の拡張）を広げて望ましい。
136	細い路地など、趣きにも影響しています。できるだけ昔からの雰囲気を残してほしい。
137	国分寺街道と府中街道の接続道路は作らぬ様（抜け道路）考慮いただきたい。
138	ブロック塀については、それ自体が延焼防止効果があり、簡単に生垣化には少し疑問です。まず、壊れ難い工夫が先か。
139	今できるはずの道路整備をスピード感をもって実行してください。歩道橋は廃止するか、エレベーター付に変更してほしい。
140	せまい道はせまい道であり車を通らないとも言えるが、でも便利ならやはり使ってしまおう。
141	高齢者になったので、よくわからない。都の計画に従うことになるのでは。
142	私の家の周りの道路は、私道であるが大分前に他の私道業者の手に渡り、いろいろと困ること（クレーム：道路掘削工事、水道）も起きている。いわくつきの道路になっている。そういう道があちこちにあるようで困ります。

産線緑地保全ゾーンの権利者の自由意見	
143	今の環境を壊してほしくない。今の道路で十分生活に支障はない。
144	道は昔のままであり、何らかの整備は必要。

その他（担当権者、居住者等）の自由意見	
145	道路が狭いことのほか、曲線が多く見通しがきかないので、広めの道路、歩道の確保、直進性高める施策をお願いしたい。
146	狭い道の整備が必要（拡張）。
147	歩行者（含自転車）の自由往来が確保されれば足りると思慮致します。
148	歩道が確保されていない道が多い。危ない。不便。とくに国分寺駅からの133号の道。府中エリアからは歩道があるのに。国分寺は残念。緑も増やすのはいいが、手入れされていない印象。逆効果。
149	史跡のまわりの道路は車が多いわりに、歩道などが整備されていないので、子ども連れで歩くと危険に思うときがあります。また、おたカフェ以外に休憩できる場所やおみやげを買う所がないので、もっと増やした方が人も多く訪れるのではないのでしょうか。
150	6m未満の道路では、車両と歩行者の間隔が少なく、怖さを感じる。息子（1歳）を歩かせたくない。
151	とにかく歩きづらいです。ベビーカーで安全に歩ける道にしてください。
152	重要だけど道路拡張せずともよい。
153	東元町周辺を歩いていて感じることは歩道があまりに狭すぎることです。歩行者が冷遇されていると感じます。何とかありませんか。
154	災害時の緊急車両のスムーズな走行と被害の拡大を防ぐためにもある程度の空間は必要。
155	車イス用トイレを設置してほしい。史跡と史跡の間の道路に陥没があるので直してほしい。
156	国分寺街道の道路が狭すぎる車が通ると危なくて危険を感じる。歩道の幅が無いに等しい。歩道と自転車の通る道を確保してほしい。
157	明るい道路にしてほしい。
158	夜は電灯の数が少ないのが暗い。数をふやすか、LEDの明るいものに交換するべきだと思う
159	自然の国分寺の景観を守りながらの道づくりは考えてよい事だと思います。
160	農家の方々が仕事をしやすい道路の整備も大切かと思えます。
161	“道路状空間”は何を意味するのか不明。

⑦その他の意見について

■地域属性別の自由意見の回答

史跡ゾーンの権利者の自由意見	
1	とにかく現状を最優先，人の手を加えるなど余計なことはしないこと。人々が心豊かに暮らせる地域（現在）であり続けたい。
2	今のままでいいです。新しい道路もありません。今の自然で充分です。
3	今のままで良い。
4	現状で十分満足しています。現在の環境を変えて欲しくない。計画についてもチラシを見ても良く理解できない。既にあったのかもしれないが，説明会等を聞くべき。
5	史跡自然保存は重要であるが，安全・防災対策は景観より重要。観光整備は災害時対応に転用できるもので。
6	最近史跡地にゴミの不法投棄が多く見られ，治安悪化，景観悪化を感じています。史跡地を区切る柵の見直し，防犯カメラの増設，違法駐車を取り締まり強化，パトロールを希望します。外灯の増設も希望します。
7	地域の生活空間（環境）の改善・維持をまず第一に考えて頂きたい。観光客（外部来訪者）に迎合したまちづくりは地域の生活環境破壊につながるリスクが高いと思います。
8	緑が多くて，広々とした空間。国分寺史跡はとても素敵な場所です。このまま変に観光化しないで欲しいと思います。イベント等が盛んになる事で来訪する方々は，かなり増加していますが，あまり人が多くなるのも考えものです。
9	蔵のある家はとても観光力があると思う。訪ねてくる人は皆おどろいている。是非残してほしい。保存費（維持費）等を優遇してほしい。
10	武蔵国分寺跡周辺の景観保持のため，建築物の高さ規制が必要と思います。（国分寺駅前の2棟のタワービルは史跡の景観を損ねていると思います。）
11	史跡の発掘調査 時間がかかりすぎて住民（観光客）が疑問視する。（個人の意見である）
12	他のまちからわざわざ散策に来てくれる人も増えてきている。こういう人たちに感謝の意を表わすべきだと思う。資料館で入園料を徴収するなどというケチなことをすべきではない。
13	“下史に名ある国分寺”と小学校の校歌で育った私ですが変化の少ない史跡に失望気味です。
14	近年目に見えて「まちづくり」進んでいる様子を嬉しく思い感謝致しております。
15	国3・4・11号線の計画案が不透明。
16	殿ヶ谷戸庭園のような美しい庭園を作り四季（春，夏，秋，冬）に入園できる場所を作ったらどうでしょうか。
17	何ごともしスピードをあげてやること。あまりにもユックリしている。車側の石がきを組んだと思ったら，今度は壊している。
18	これだけ史跡を保存整備しているのに，公には何も発表がないため（あるのかもしれませんがだれも気づいていない）。
19	史跡周辺エリアのまちづくりも良いが，まずペットボトルを回収しないまちが問題である。住民にやさしくなく，小金井市のゴミを受けながら，自分の町のゴミ回収ができないとは本末転倒である。高い税金が住民の要望に使われないのは残念で仕方がない。ぶんバスをせめて30分に1本にして欲しい。
20	史跡武蔵国分寺跡最東に住んでおり，七重の塔東側で人が集まり騒音を発生するような（迷惑な）使い方には断固として反対します。（黒鐘公園や尼寺のようにはしないように）具体的には，ボール（野球，サッカー，バスケ，テニス）の使用禁止（家や車に当てられているために），（音がうるさいため），人がさわぐのを禁止，・花火禁止，・スケートボード禁止，犬の吠え声・フン・リードつけない…マナー違反禁止，ネコのイサやり禁止など。生活環境を安全に守る事を強く要望します。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
21	とにかく手を加えないこと。
22	安全面を考慮したまちづくりは良いが，今の環境をこわしてまで，観光に力を入れる必要があるのか分からない。人の出入りが多ければ，治安も悪くなる。今の状態が好きです。あまり手を入れすぎないで欲しい。
23	曲がりのある道は，残したほうが良いと思う。

低層住宅・小規模店舗調和ゾーンの権利者の自由意見	
24	現状の静かな生活環境に満足しており、これ以上の変化を望まない。特に来訪者の増加（観光化）に伴う諸整備は必要ないとする。
25	国3・4・1号線の計画は計画のままずっと今日までできているように感じる。沿道の店舗や家屋の老朽化が目立ち防災的にも防犯的にもよくないと思う。
26	住民の生活に影響が出ない程度に観光客にも来て頂きたい。
27	車いすの家族を散策に連れだしたくとも叶わない。国分寺の道路に半ば諦めでした。高齢者にも障害者にも楽しめる史跡めぐりができますように七重の塔近辺の桜の坂は素敵です。あまり観光化しないで、現在の状況が好ましいと思います。
28	住民の高齢化もあり自立を目指す健康づくり等に市もご尽力されていますが、散歩に出ても腰かける所はお鷹の道に1つあるだけです。障害者・お年寄りにやさしい配慮されたまちづくりを願っています。全国のモデルになるような、すばらしい緑と水のまちなのですから。
29	今までの史跡周辺の整備はあまりにお粗末であったと思います。本アンケートに記載されている全てのゾーンについて積極的に整備して欲しいと強く思います。できることなら、かつての国分寺本堂や七重塔を再建して下さい。長期的視点で、国分寺市の財政を大きく改善させたいと思います。
30	史跡はそこだけ（今判っている所）では魅力になりません。周辺環境も十分考慮して町を整備して行って下さい。武蔵国分寺を十分感じられる。そういう形ができることを期待しています。
31	史跡はとても良い地域と思っています。国分寺の自慢出来る場所です。この史跡を見学に来る方々の為に、「行って良かった、見て良かった」と思える地域にする事が大切だと思います。
32	史跡は観光資源としては、それほど魅力あるものではない。むしろ奈良時代から江戸時代に至るまでのく歴史空間を学べるく場として、とらえてみてはいかがだろう。なぜこの地に関東一の国分寺が建設されたのか？等々、市内の子どもたちだけでなく、都内の子どもたちが訪れるような所であって欲しい。都立多摩図書館との連携も図るべきではないだろうか。
33	国分寺は大変良いまちだと思っています。私の周囲にも国分寺が大好きな人が大勢います。この地に育ってゆく人や訪れる人が引きつづき「大好き」と思えるようなまちづくりの推進をお願いします。このようなアンケートを通じて自分の国分寺への思いを伝えることができたことを大変感謝しております。ありがとうございました。
34	観光を取り込むより、まずは住みやすいまちづくりをしっかりと行い魅力がある国分寺市（緑の多さ、子どもを安全に育てられる環境、道路整備）をつくるのが先。
35	国分寺という歴史ある土地を残しつつ、快適な生活ができる環境を保ってほしい。緑の多い、静かな環境を壊さないまちづくりを目指してください。
36	国分寺市のシンボルである武蔵国分寺跡の歴史文化は貴重であるが、詳細な内容が明らかにされていない。史跡周辺エリアのまちづくりより優先順位が高い。
37	言葉ばかりでなく目に見える文化の街として緑の街としての視点を大事にしてほしい。何か物足りない！
38	お鷹の道沿いにある民家のビニールシートが残念です。
39	史跡周辺エリアのまちづくり、かなり前から聴いている言葉だが国指定史跡エリアで少々の変化がある（努力か？）程度、何も数十年の変化なしの状態！問-1でも記しましたが道路整備がなぜ出来ないのか？不思議である。私たちが生ある内には当然無理なのは明白だが「まちづくり」のタイトルを出すなら期間（10年計画、20年計画）の具体的行程表でも出して、多少なり夢を持たせてほしい！
40	市行政はもっと早くから、歴史保全に動くべきでしたね。すでに多くの歴史資源が散逸してしまい、無念でならない。四小脇の東山道遺跡も、もっと早く動いておれば、大半を保存でき、歴史エリアとして周辺整備でき国分寺市の魅力は、よりいっそう増したものを…と無念でならない！！
41	西元町3丁目のプレイステーション（子どもたちのあそび場）が、近隣の新設住居住民からの騒音苦情で閉鎖されると聞いた。とんでもない話である。子どもは「日本の宝」、いつまでもプレイステーションを残し、子どもたちをすこやかに育てたい。閉鎖には反対である。
42	中途半端なまちづくりは血税のムダとなる。やるなら徹底して行うべきである。
43	工事期間が長すぎ。おたカフェ前の工事期間と当該費用は常識外。
44	人工的になりすぎないことを希望します。

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
45	静かな環境を残してほしい。
46	静かで落ち着きと趣きのある現在の史跡エリアで十分と考えます。現状以上の開発や整備は不必要と考え

農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
	ます。
47	静かな環境が気に入っています。来街者が増えてゴミが落ちていたり人がたむろしたりしないことを望みます。(治安)
48	夜間一定の時間まで良いので街灯を増やしてほしい。
49	災害に強い街づくりは大切です。
50	防災まちづくりを踏まえた観光まちづくりを進めてほしい。
51	道路網の整備を最優先で取り組んでもらいたい。緊急車両の通行に課題を感じる。車で来る観光客はどうするんですか。街灯が少ないもしくは暗く、安全性に課題がある。緑地化し無人化したエリアの安全性を検討して欲しい。現在も公園周辺に車で寝泊まりしている不審者がいる。
52	静かでのどかな所が気に入って購入した土地なので、駐車場を作って車の往來を激しくしたり、あまりにも観光地化しすぎて、道に観光客のゴミが捨てられたり、桜の時期には大混雑…というような状況だけは絶対に作らないで下さい。
53	基本的に史跡保存は重要ですが観光地化し、多くの人々が来るのは混雑した中、自宅に帰るのに遅くなる(車が渋滞するなど)。環境であったり、堀の景観を揃え、人々に見てもらいたくはありません。京都や鎌倉のようになって欲しくありません。
54	史跡のことも重要ですが、近辺に居住する者も高齢化していますし、利便性等も第一に考慮していただければ嬉しいです。
55	空き家、廃屋のような家が多くあり怖い。新しい家がたくさん建ち始めたが、古い人たちがうまく共存できていないと思う。
56	空き家の対策を是非、お願いしたい。防犯上、重要と考えます。
57	がんばれ国分寺市！！近隣市に負けるな！！史跡には、多数の方が来訪されていますが、ぶんバスに乗り遅れ、ため息をつく方、つかれはて、座り込み方等…シニアの来訪者には冷たいゾーンと思われまます。カフェ…耳なれない場所にとまどい、食事もままならず…、また若い来訪者には、いささか物足りないつまらないゾーンとも思われます。道の駅のような、来訪者も市民も楽しめる場所を希望します。医療と保育、老健施設を合体したファミリーバイタルゾーンもよろしく！！
58	国分寺は大古より聖武天皇の御代以来関東の中心地。にもかかわらず、ふさわしい景観には今一歩。
59	国分寺市は、史跡と崖線が自慢。大切にして下さい。
60	今回の市のプランや検討事案には概ね賛成です。歴史、自然、交流等の適切な調和によって、永く継続した「歴史深い街」づくりをしてほしいと切に願っています。私は国分寺が大好きです。都随一の歴史の観光街を目指して下さい！
61	地区計画、緑化地域、景観地区の設定等の政策ツールをフルに活用し、環境保全に努めること。また、ムダなハコモノづくりはやめること。
62	史跡と広がる空と人の交流、国分寺駅から史跡公園を通り、西国分寺駅までつながるような、アドベンチャーゾーンとして人の心を魅了するアクティブで強いコンセプトを持ったエリアづくりを。多様性を持った意思、主張の吸い上げを行ってもらい、アゲアゲな街づくりにつながる事を期待しています。
63	「史跡のまち 国分寺」と銘打つにふさわしい「手入れの行き届いたくつろぎの場」、「歴史の香りを味わえる場」として美しい「まちづくり」に取り組んでいただきたいと思います。道路幅の狭い道があちこちにあるが、自分の敷地の外にプランターを並べたり、植物を植えたりして、更には狭めているところが見受けられる。災害緊急時の車両通行にも支障があるので、町会回覧等を通じて対策を！（各自のマナーとして）道路に余計なものを置かないよう呼びかけてほしい。（個人的には言いにくい。）
64	外部の都市計画の専門家等の意見をきいたり、可能であればマスタープランの作成に加わってもらいたい。
65	まちづくりの専門家にマスタープランを作成してもらいたい。駅前を含め、史跡の町としてはずかしくない景観条例を制定してほしい。
66	保育園がもう1つくらいあっても良いのでは？府中にあるような施設（遊具の多い公園、じゃぶじゃぶ池、喫茶店、美術館など）があれば、人が集まると思う。黒鐘公園も良いけれど…あまり知られていないような気がする。府中市のじゃぶじゃぶ池はとても良い！国分寺市内にもあれば…（希望）
67	国分寺市全体の面積を見ると史跡に関する部分の面積が広すぎると思う。過去に住宅を強制転居させてまでも、桜の木を植えた場所があるが、そこまで広げる必要性は無かったと思う。植木の手入れや雑草の手入れの人件費はいくらかかっているのでしょうか。夜間は暗く、防犯上も問題です。国分寺には他の周辺市に比べ、良い住宅地が少ないし、生活に不便です。とにかく、住宅地の事も考えないと国分寺の発展はないかと思う。

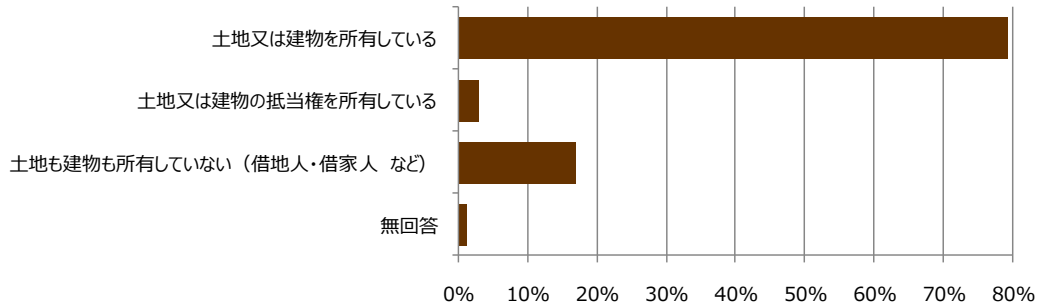
農住調和ゾーンの権利者の自由意見	
68	全体を考えていただくには“専門家”またはそれに近い方の意見を聞いてデザインして欲しい。東元町在住の藤森氏（江戸東京博物館長，江戸たてもの園長，建築史家）の意見もぜひ聞いて，または計画に参加してほしい。
69	保全と整備のバランスが大事だと思います。あまりに観光地化しても，住民・訪問者ともに満足できなくなるのではないのでしょうか。

崖線緑地保全ゾーンの権利者の自由意見	
70	保全と整備のバランスが大事だと思います。あまりに観光地化しても，住民・訪問者ともに満足できなくなるのではないのでしょうか。

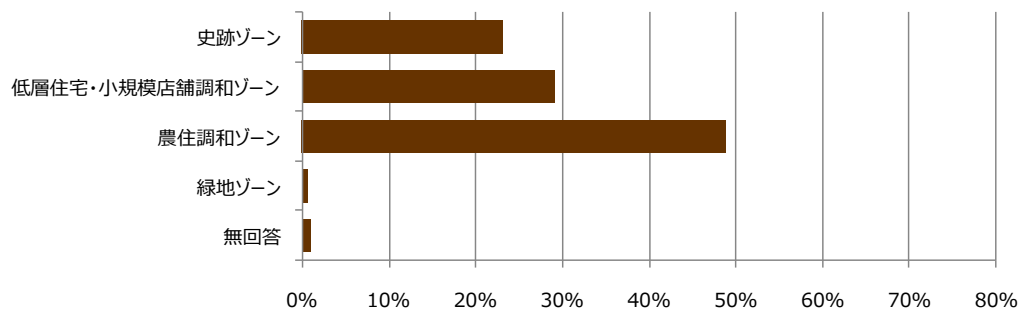
その他（抵当権者，居住者等）の自由意見	
71	あまり自然を壊さず，今の状態を守っていくような方向で考えてほしい。
72	暗くて大人でも夜はこわいです。特に史跡ゾーン，低層住宅ゾーン。
73	観光面だけでなく居住面も考えてほしい。
74	看板等も景観の一部として，協力を求めるなり条例に組み込むなりする方が良いと思う。視覚障害者，車イスの人も来ることを想定したつくりにして欲しい。（トイレなど）低層住宅ゾーンはゴミブリがすごく多いのがイヤ。
75	史跡内で自由に歩けるところに，スロープをつけてほしい。
76	空き家，老朽化した家屋が多く見られる。土地の譲渡をしやすくするよう情報収集・公開，マッチング等の対応をお願いしたい。
77	鎌倉街道に花がなく，ゆりの花がなんぼかあったらいいと思います。道の端に小さい花を植えるとか，もう少し，花咲く国分寺にしたらいいと思います。（みなさんが国分寺に来ても見ることがあまりないといっています。）
78	史跡や自然環境をよく残していく必要がある一方で現状環境のよくない場所もあるので，市が直接管理可能なエリアを中心に，生物多様性や景観に配慮しつつ積極的に「どのような整備が必要か，ふさわしいのか」検討して欲しい。それを行う上で特に他の地区での成功例のほか，近年発達してきた新しいルール概念にも目を通して欲しい。
79	緑豊かな住環境は観光地としての魅力はあると思うが，子育て家庭にとっても大きな魅力のあるまちとなっている。実際，子育て家庭が多いように思われる。生活と観光の共存するまちづくりを進めて欲しい。
80	私は国分寺に住んで10年位になりますが東元町については余りわかりません。ただ史跡のエリアは貴重なものと考えます。今はそれほどではないものの後に価値が存在すると思います。道・花・川・鳥も史跡をかもし出す重要な要素とも思います。都心ではこんな事はないですから。（品川と比べて）あつかましい話をしてすみません。
81	この場所に住む前，ふらっとこのエリアに来て感じたことを書きます。すごく感動したのは「住宅地の中に現れた草原そして人が年月をかけてつくった道の美しさでした。思わず写真を撮ったことを思い出します。今でも七重あたりはお気に入りの眺めです。桜の時期はため息が出るほど。あまり手を入れ過ぎない方がよいと考えています。プレステの景観もインパクト大でした。ユニークな地区だと思います。本当に住むのにいい土地です。
82	武蔵国分寺跡の柱など新たに建てられても今までずっとなかったのでもうそくさく感じる。ずっと住んでいるため（30年以上）今さらこんなのつくってとを感じる。
83	お鷹の道は犬のふん害が目立っているので，こちらの対策も視野にいれてほしい。
84	アンケートのとり方に少し疑問が残ります。やった方がよいと思われる項目が重要であるかどうかと聞かれたら，やるに越したことはないと思います。どの項目が一番優先順位が高いと思うかでアンケートをとった方が有意義ではないのでしょうか？あと内容が難しく，もっと精選して，働いていたり，子育てをしている忙しい方でも気軽に答えられるようなものがないなと思いました。よくわからないまま解答している人も多いのでは？

4) 回答者の属性

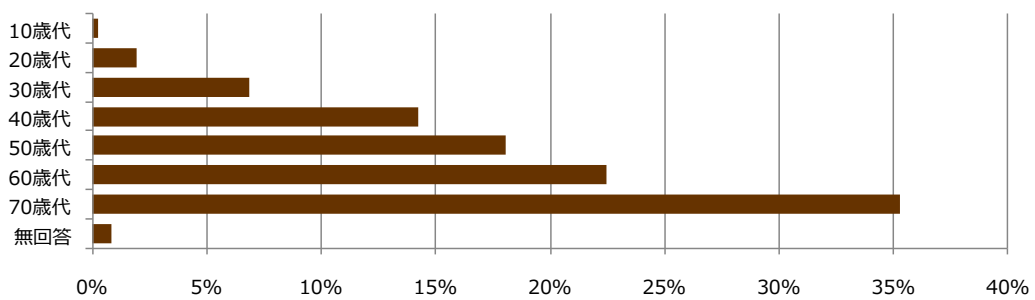
①土地・建物の所有状況



②所有する土地・建物があるゾーン



③年齢



④お住まい

